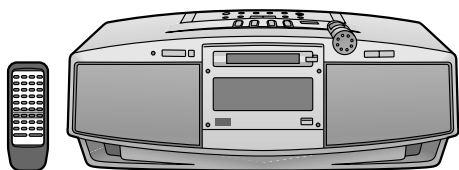
Panasonic®

パーソナル MD システム

取扱説明書

品番 RX-MDX5

保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、パーソナル MD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

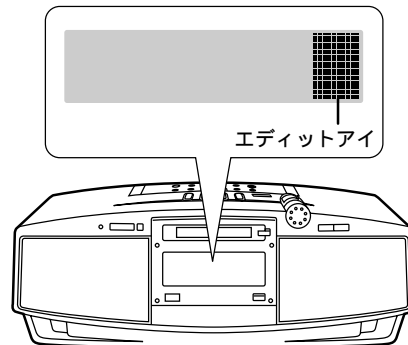
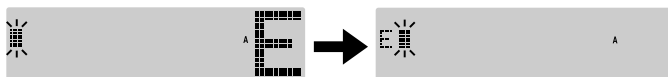
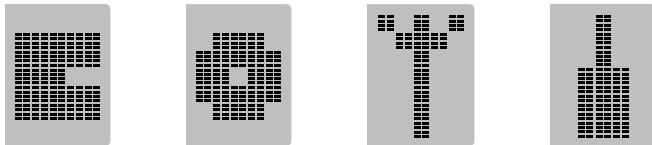
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

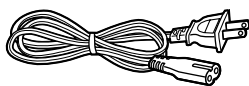
RQT5171-2S

本書の見かた

本書では、本体での操作を主にして説明しています。
リモコンでも、本体のボタンやダイヤルと同様の名前のものは、同じように操作できます。（リモコンのみで行う操作には、 リモコンのみ と記載しています。）
それぞれのボタンについては、44 ページ「各部のなまえ」をご参照ください。

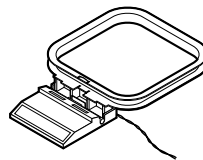
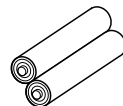
本機のエディットアイについて

エディットアイ搭載の大型ディスプレイにより、MD タイトル入力時（⇨28ページ）に表示される文字が大きいため、離れたところからでも、確認しながらリモコンで入力できます。
また、操作や状態により、それらをイメージするいろいろなキャラクターが表示されます。

（例）タイトル入力時

（例）MD のとき　CD のとき　ラジオのとき　外部入力のとき

付属品の確認

■電源コード ……………………1 本
（品番：RJA0059-J）

お願い

付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

■AMループアンテナ …………1 個
（品番：RSA0026）

■リモコン ………………………1 個
（品番：EUR644865）

■リモコン用・単3形乾電池 …2 個

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　）内は買い替え時の品番を表します。

もくじ

ご使用前に
使いかた
必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

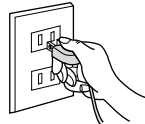
⚠警告

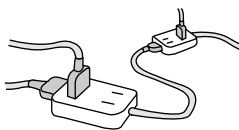
電源コードについて

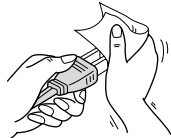
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ、機器やプラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

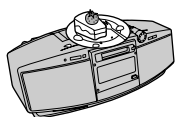
以下のようなときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠警告

ご使用について

機器の上にものを載せない

• 機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

• ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
• 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
• 特にお子様にはご注意ください。

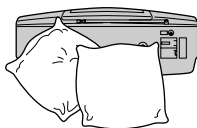
分解、改造したりしない

分解禁止

• 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
• 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

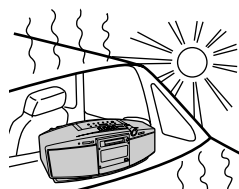
⚠注意

設置・接続について

放熱を妨げない

• 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

不安定な場所に置かない

• 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

• 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
• 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

• 電気や油が水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

• 強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
• 設置・工事は販売店にご相談ください。

電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

• ⊕と⊖は正しく入れる
• 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
• 乾電池は充電しない
• 加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
• 長期間使用しないときは、取り出しておく
• ネックレスなどの金属物といっしょにしない
• 乾電池の代用として、充電式電池を使わない

• 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
• 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
• 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

安全上のご注意

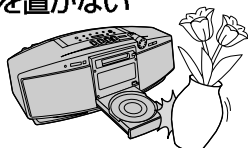
⚠注意

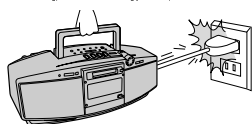
ご使用について

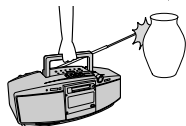
CD 挿入口の奥には手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない

- CD 挿入部が開いたとき、ものに当たって倒れたりして、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

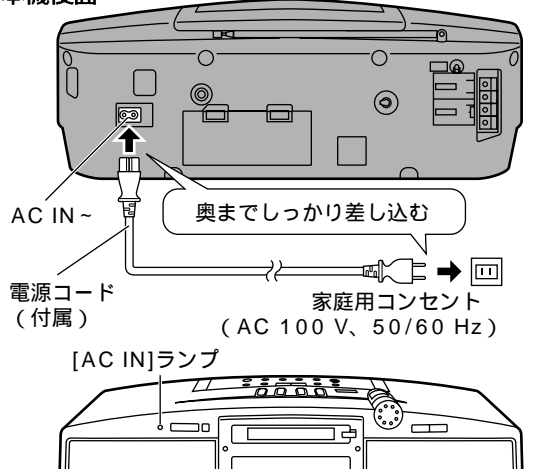
アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

- 破損して、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

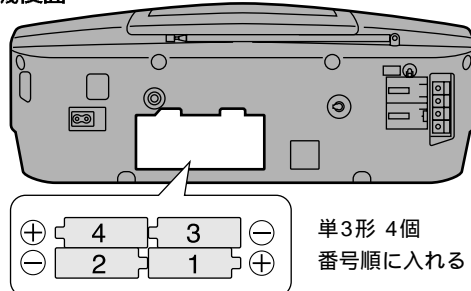
電源の準備

電源コードは奥までしっかりと差し込んでください。

- 電源コードを接続すると、[AC IN] ランプが点灯します。

メモリー用乾電池（別売り）

デモ機能・節電機能（⇨8ページ）の設定、時計やタイマー、MD や CD の予約内容、記憶させた放送局が消えるのを防ぐため、お使いになることをおすすめします。

メモリー用乾電池を使用していないと、以下のときメモリーが消えます。

- 停電したとき
- 電源プラグをコンセントから抜いたとき

- 出すときは 上段は4番の、下段は1番の ⊖ 側を持ち上げる。

■乾電池の交換

- 乾電池の寿命は約1年です。
- メモリーが消えないよう、電源コードをコンセントと本体に接続してから乾電池を交換してください。

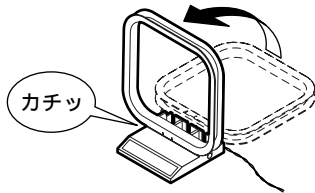
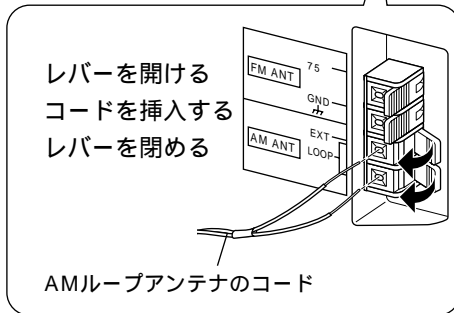
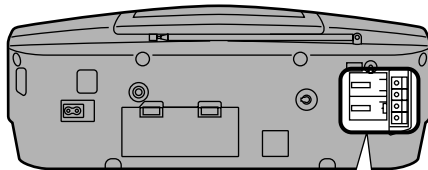
お知らせ

電源コードを抜くときは

電源を切ってから抜いてください。電源が入ったまま電源コードを抜くと、メモリー用電池の消耗が早くなります。

アンテナの接続と調整

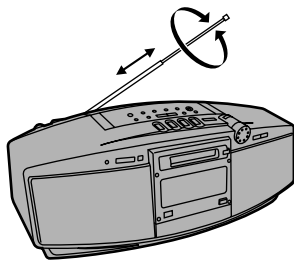
AMループアンテナ(付属)の接続と調整

1 アンテナを組み立てる

2 本機後面に接続する

3 放送局を受信してみて(⇨15ページ)、雑音が少ない位置と角度にAMループアンテナを調整する。

FMホイップアンテナの調整

長さと向きを調整する。

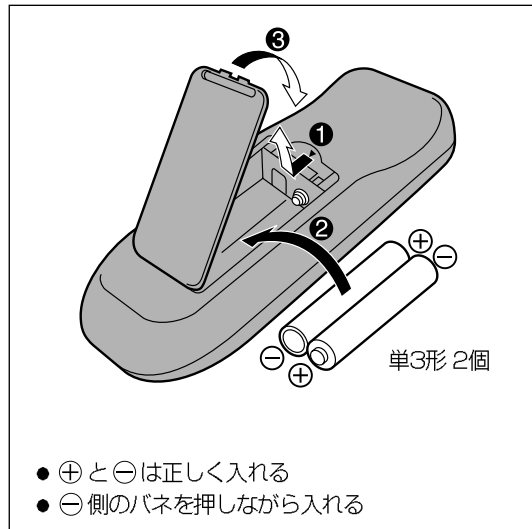
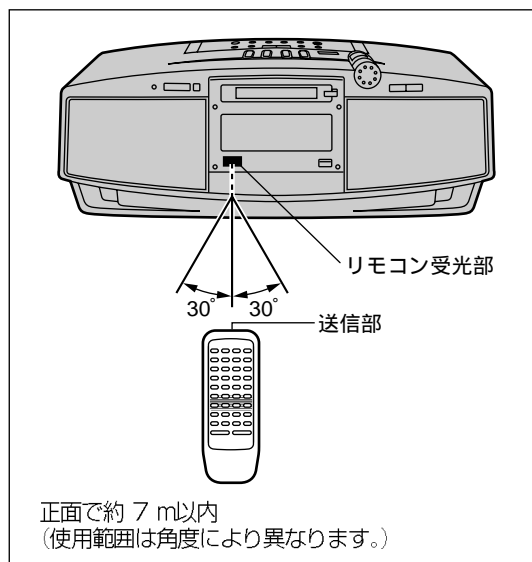
お知らせ

電波の弱い地域では、屋外アンテナの設置(⇨36ページ)をおすすめします。

リモコンの準備

乾電池(付属)を入れる

- ⊕と⊖は正しく入れる
- ⊖側のバネを押しながら入れる

リモコンの使いかた

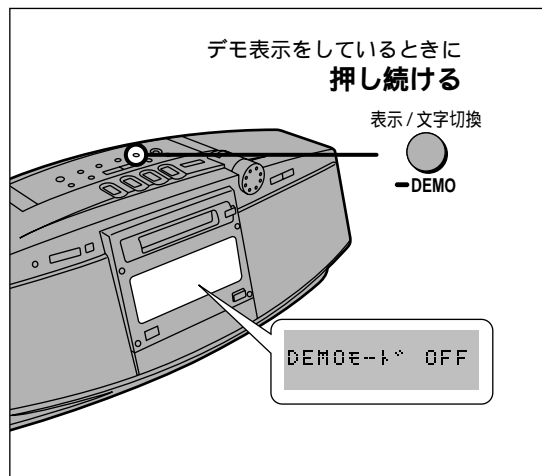
正面で約 7 m以内
(使用範囲は角度により異なります。)

正しく送信するために

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意する。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

リモコンの故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなどの液状のものをこぼさない。

デモ機能(DEMO)を「切」にする

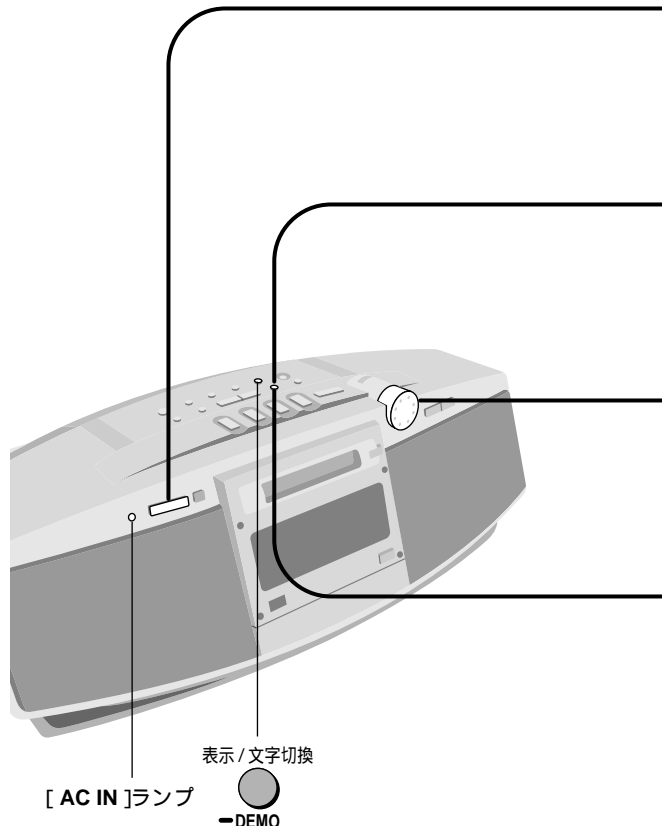
- お買い上げ後、初めて電源コードを本機に差し込むと、デモ機能が働きます。
（お買い上げ時には、「入」に設定されています。）

お知らせ

- メモリー用乾電池のご使用をおすすめします。電源プラグを抜き差ししても、デモ機能を「切」に再設定する必要がなくなります。
- デモ機能を「入」にするには
［表示/文字切換、ーDEMO］を押し続けます。

●時計を合わせたときは
デモ機能は自動的に「切」になります。

- デモ機能を「入」にするには
［表示/文字切換、ーDEMO］を押し続けます。
「切」にするには、デモを表示しているときに、［表示/文字切換、ーDEMO］をポンと押します。
（"DEMOモード OFF" は表示されません。）

時計を合わせる

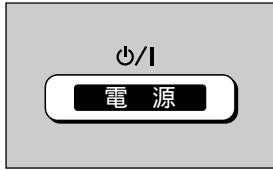
24時間表示です。
例）10時03分に合わせる。

待機時の節電機能について

電源「切」時の消費電力（待機電力）を節約する機能です。
（お買い上げ時には、「入」に設定されています。）

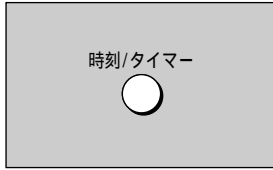
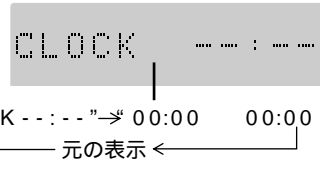
	ECO(入)	NORMAL(切)
表示部	全消灯	時計、設定したタイマーの種類等
待機電力	約 0.7 W	約 3.1 W

お願い

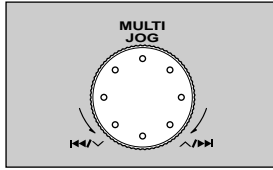
節電機能の「入」「切」に関係なく、デモ機能（左記参照）が「入」のときは、デモ機能が働きます。
節電機能を「入」にしたときは、デモ機能を「切」にしてください。

1

押して
電源を入れる

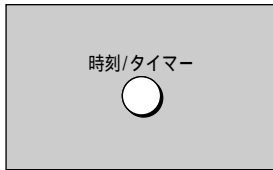
2

押して
“CLOCK --：--”を選ぶ

CLOCK --：--

押すたびに“CLOCK --：--”→“00:00→→00:00”
元の表示

3

10秒以内に
回して
時刻を合わせる
時間、分を同時に合わせます。

CLOCK 10:03

4

時刻/タイマー

押して
時計をスタートさせる
時報などに合わせて押してください。

CLOCK 10:03

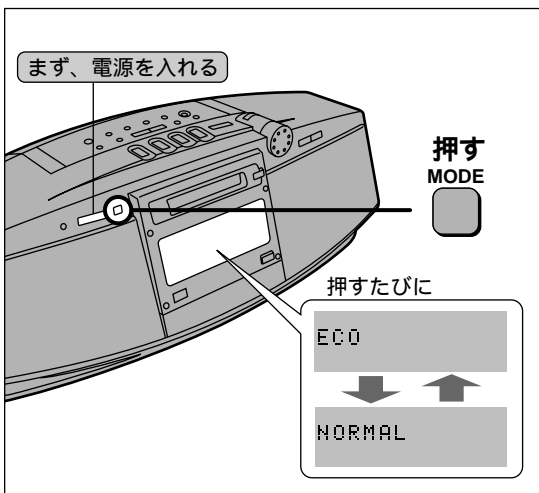
約1秒で元の表示に戻る

■時計を表示させるには ⇨ 電源「入」時は 時刻/タイマー **押す**（約 10 秒間表示）

● 長時間表示させるには **[表示／文字切換]** をポンポンと押して“CLOCK”を選んでください。

電源「切」時は 表示/文字切換 **押す**（約 5 秒間表示）

● 電源「切」時に常に時計表示させる場合は、電源を入れて節電機能（下記参照）を「切」にします。

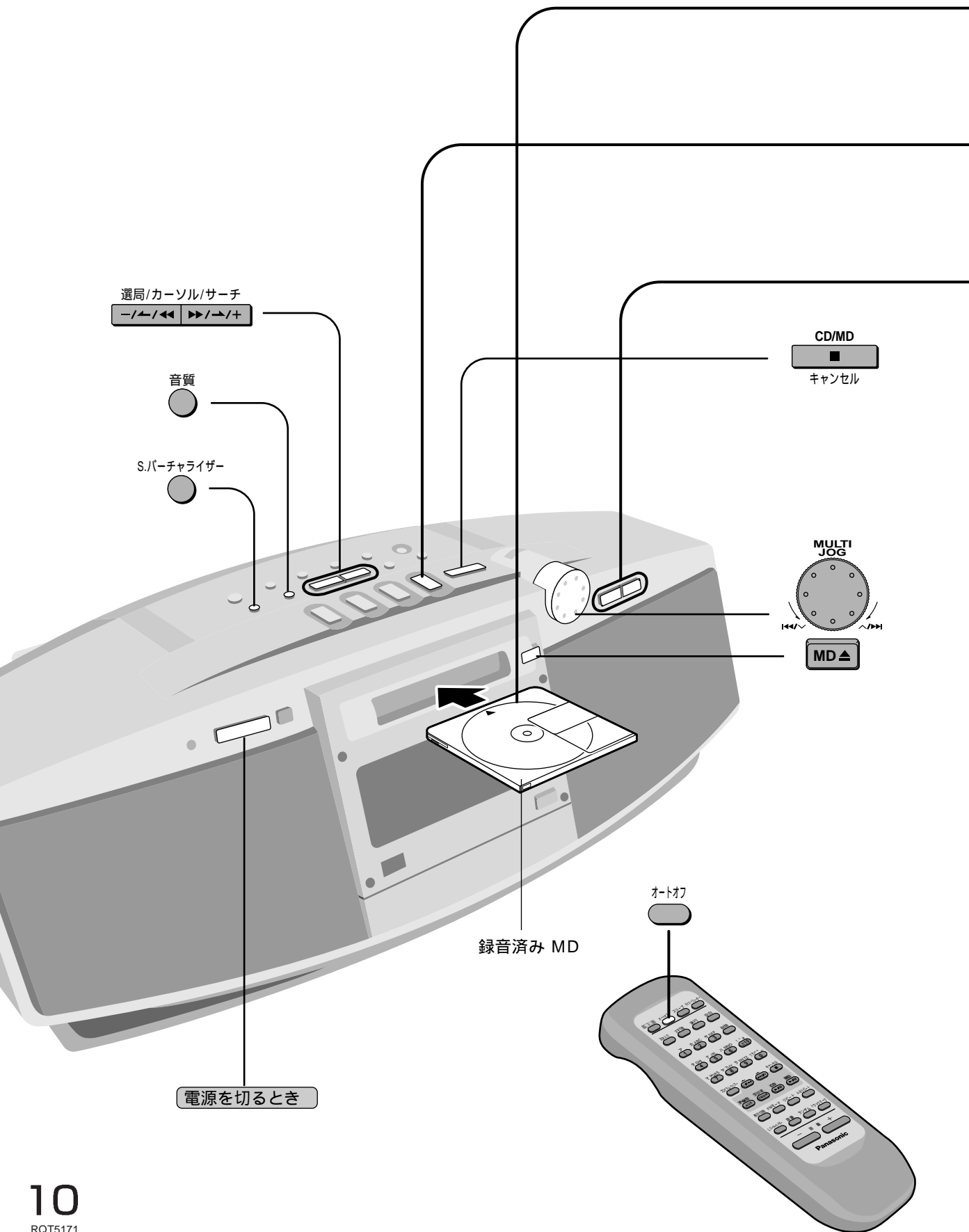
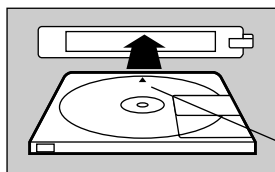
■節電機能を「入」「切」するには

電源を入れ、[MODE] を押す。
● 1回押すと現在の設定表示。
● その後、押すたびに切り換わる。

[MODE] 押すと、“ECO”（「入」）と表示し、数秒後に消えます。

お知らせ

電源「切」時でも、NORMAL→ECO に切り換えられます。ただし、逆には切り換えられません。

本機を長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
ただし、メモリー用乾電池（⇨6ページ）を入れていないと、再使用時に放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。

選局/カーソル/サーチ
音質
S.バーチャライザー
CD/MD
キャンセル
MULTI
JOG
MD
オートオフ
録音済み MD
電源を切るとき
Panasonic

1 録音済み MD を入れる

MD を押し込むと電源が入り、MD が自動的に引き込まれます。

▲の向きに入れる

2

押して
演奏を始める

3

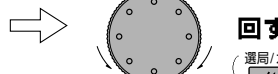
押して
音量を調整する

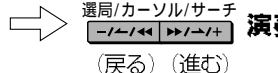
■演奏を止めるには ⇨ CD/MD ■ キャンセル **押す**

■MD を取り出すには ⇨ MD⏏ **押す**

総曲数　総演奏時間

■一時停止するには ⇨ MD ▶/II **押す**
（演奏に戻るには、もう一度押す。）

■前後の曲にとぶには（スキップ） ⇨

回す
（選局/カーソル/サーチ をポンポンと押してもできます。）

■早送り／早戻しするには（サーチ） ⇨

（戻る）（進む） **演奏中に押し続ける**

■好みの音質を選ぶには ⇨ ４種類の音質が選べます。

音質 **押す**

押すたびに次のように切り換わります。

HEAVY：ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT　：BGMとして聞くとき
VOCAL：ボーカルにつやを出したいとき
EQ-OFF：音質効果を使わないとき

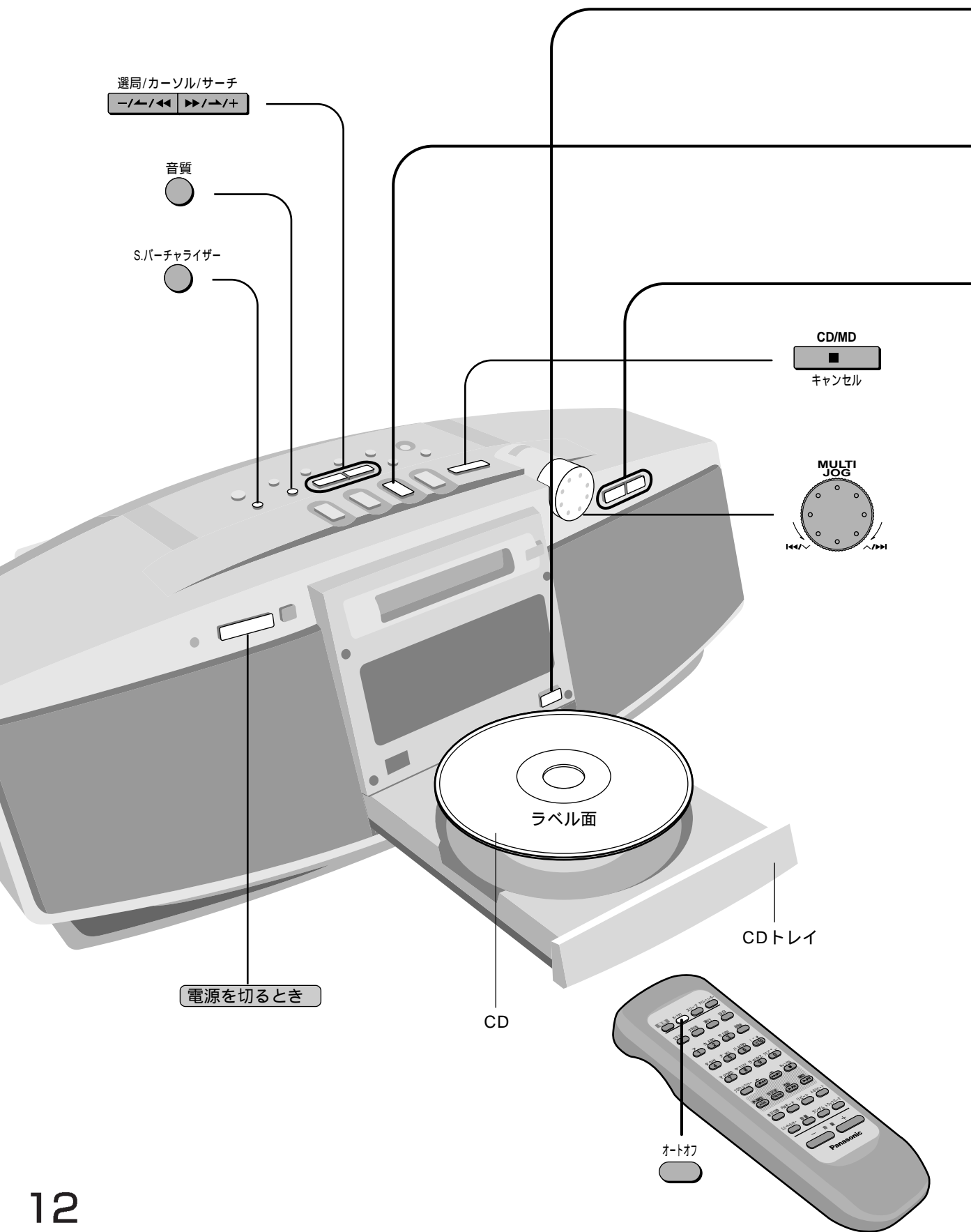
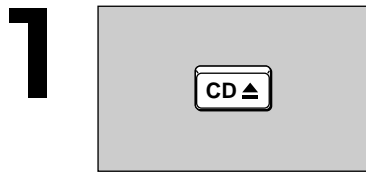
■立体的な音場効果を楽しむには
（ステレオ音声のみ） ⇨ S.バーチャライザー **押す**（もう一度押すと解除）

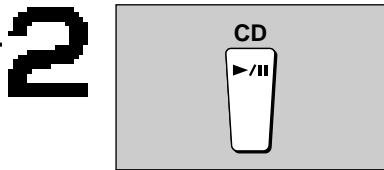
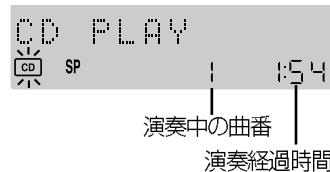
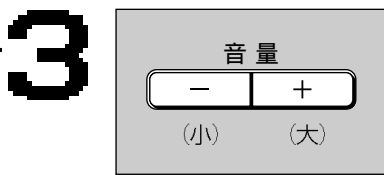
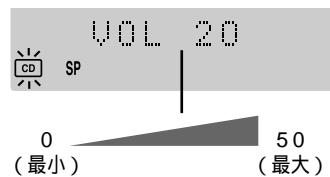
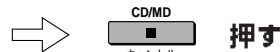
S.V. ON

■演奏終了後などに、自動的に電源「切」にするには リモコンのみ ⇨ オートオフ **押す**（もう一度押すと解除）

演奏を止めた状態、ディスクが入っていない状態で約4分間、操作をしないと自動的に電源「切」になります。（MD とCD の場合のみ）

お知らせ

- すでにMD が入っているときは、手順2から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）
- ステレオ録音した曲を演奏すると“SP”が点灯し、長時間（モノラル）録音した曲を演奏すると、“LP”が点灯します。（⇨ 22ページ）
- S.バーチャライザーの効果は、音楽によって異なります。

選局/カーソル/サーチ
音質
S.バーチャライザー
CD/MD
キャンセル
MULTI
JOG
ラベル面
CDトレイ
電源を切るとき
CD
オートオフ
Panasonic

1
押して CD トレイを開き
CD を入れる

- 押すと電源が入りトレイが開きます。
- もう一度押すとトレイが閉まります。

2
押して
演奏を始める

演奏中の曲番
演奏経過時間

3
押して
音量を調整する

0
（最小）
50
（最大）

■演奏を止めるには ⇨ CD/MD ■ キャンセル **押す**

■CDを取り出すには ⇨ CD⏏ **押す**

総曲数
総演奏時間

■一時停止するには ⇨ CD

■前後の曲にとぶには ⇨ **回す**
（スキップ）
（選局/カーソル/サーチ をポンポンと押してもできます。）

■早送り／早戻しするには ⇨ 選局/カーソル/サーチ **演奏中に押し続ける**
（サーチ）
（戻る）（進む）

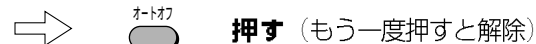
■好みの音質を選ぶには ⇨ 4 種類の音質が選べます。
音質 **押す**

押すたびに次のように切り換わります。
HEAVY：ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT：BGMとして聞くとき
VOCAL：ボーカルにつやを出したいとき
EQ-OFF：音質効果を使わないとき

■立体的な音場効果を楽しむには ⇨ S.バーチャライザー **押す**（もう一度押すと解除）

（ステレオ音声のみ）

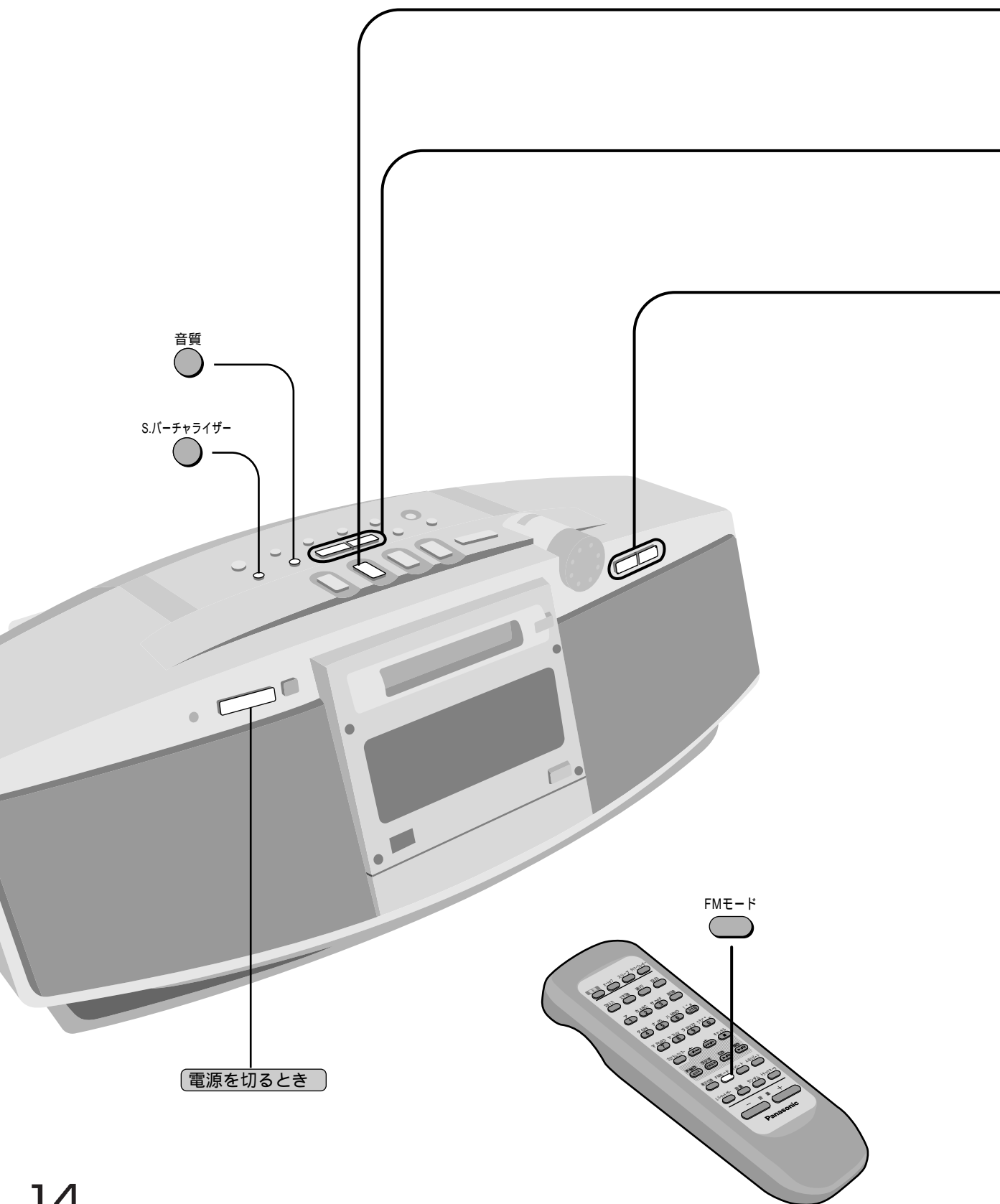
S.V. ON

■演奏終了後などに、自動的に電源「切」にするには リモコンのみ ⇨ オートオフ **押す**（もう一度押すと解除）

演奏を止めた状態、ディスクが入っていない状態で約4分間、操作をしないと自動的に電源「切」になります。
（MD とCD の場合のみ）

お知らせ

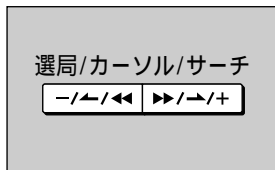
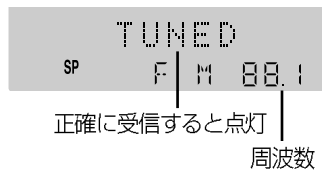
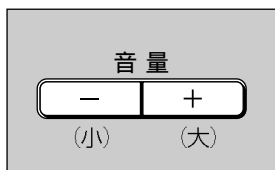
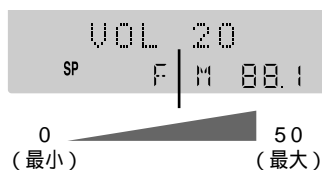
- 手順1 でCD トレイを閉めずに［CD、►/II］を押した場合でも、トレイが自動的に閉まり、演奏が始まります。
- すでにCD が入っているときは、手順2から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）
- S.バーチャライザーの効果は、音楽によって異なります。

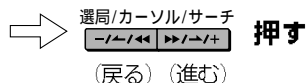
音質
S.バーチャライザー
FMモード
電源を切るとき
Panasonic

ラジオを聞く

テレビ音声（1～3chチャンネルのみ）はFMで受信します。

1

押して
FM または AM を選ぶ
電源が入り、"FM" または "AM" が点灯。

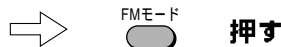
2

ポンポンと押して
周波数を合わせる
テレビの受信位置は：
FM90.0→TV1 ch→TV2 ch→TV3 ch→FM76.0

3

押して
音量を調整する

■自動選局するには
（オートチューニング）

押す
（戻る）（進む）

- 周波数が動き始めるまで、押し続けてください。
（初めに受信した放送局で周波数が自動停止します。）

■FMステレオで雑音が多いときは リモコンのみ
（FM 76.0～90 MHz受信時のみ）

押す

"MONO" 点灯
MONO
TUNED
F M 88.1
（モノラル受信モード）

- モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
- 通常は "MONO" を消灯させておいてください。

■好みの音質を選ぶには

4 種類の音質が選べます。

押す

EQ-ON
HEAVY

押すたびに次のように切り換わります。
HEAVY：ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT ：BGMとして聞くとき
VOCAL：ボーカルにつやを出したいとき
EQ-OFF：音質効果を使わないとき

■立体的な音場効果を楽しむには
（ステレオ音声のみ）

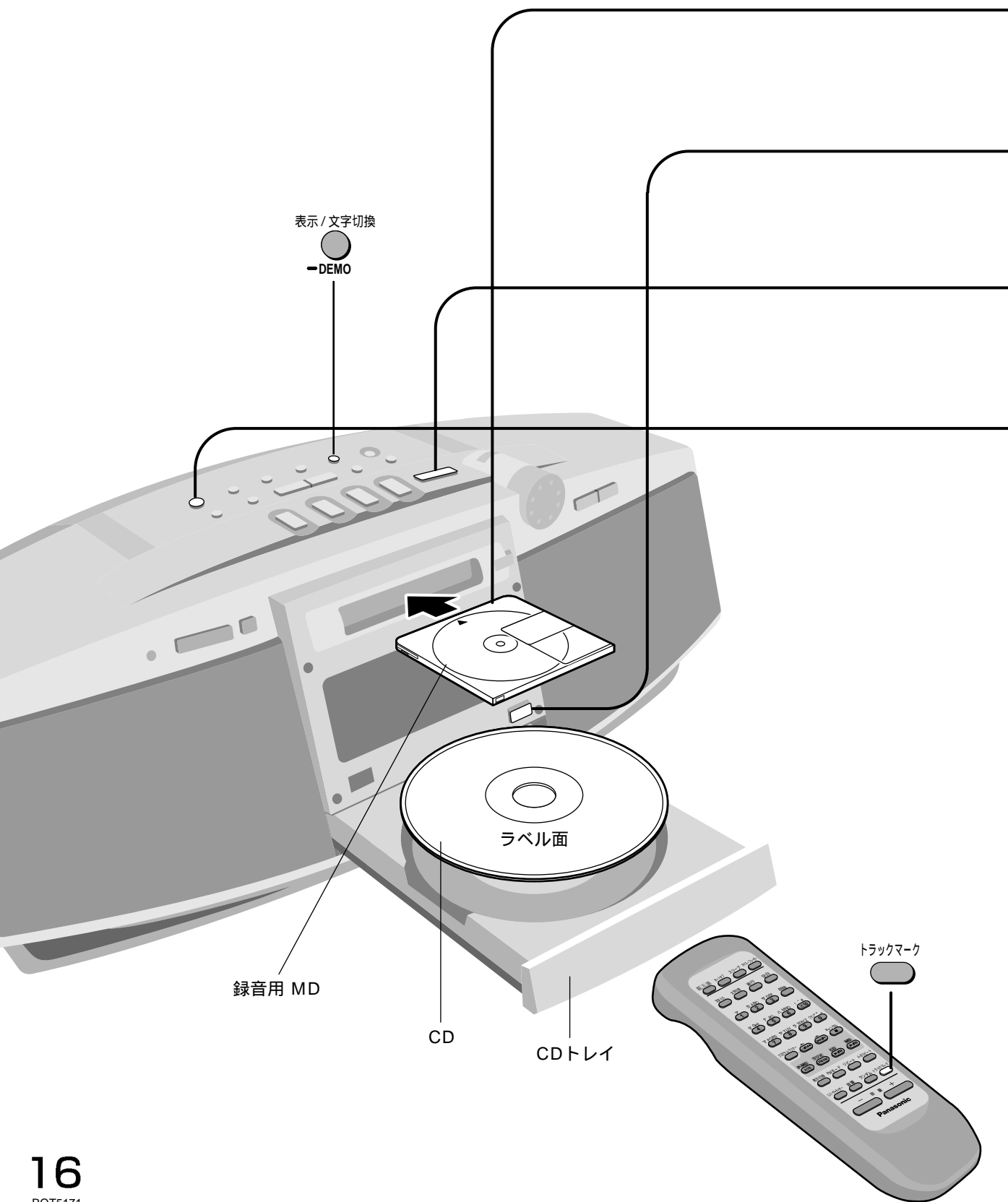
押す（もう一度押すと解除）

S.V. ON

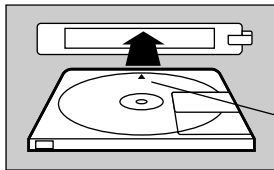
お知らせ

- AM とテレビの音声はモノラルになります。
- 受信しにくいときは、アンテナの向きなどを調整し（⇨ 7ページ）、それでも改善されない場合は、屋外アンテナの利用をおすすめします。（⇨ 36ページ）
- S.バーチャライザーの効果は、音楽によって異なります。
- 放送局を記憶させて聞くことをおすすめします。（⇨ 20ページ）

本機のTV 受信回路について
FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに FM が混信することがあります。

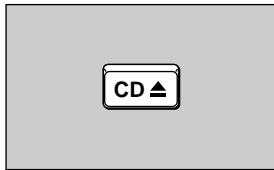
表示／文字切換
DEMO
ラベル面
録音用 MD
CD
CDトレイ
トラックマーク
Panasonic

- はじめてMD を使用する場合は、38ページ「MD について」をお読みください。
- CD から MD へは、デジタル音声で録音されます。

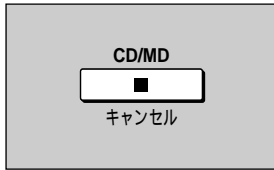
CDをMDに録音する

使いかた

1 録音用 MD を入れる

▲の向きに入れる

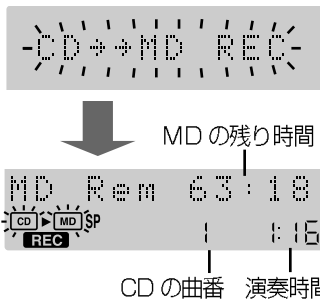
MD を入れると
点滅（約5秒間）→ 点灯

2

押して CD トレイを開き
CD を入れる
もう一度押して、トレイを閉める。

3

押して
CD に切り換える

CD を読み込むと点灯

4

押す
CD の再生とMD への録音が同時に始まり、録音が終わると停止。

MD の残り時間

CD の曲番　演奏時間

■録音を途中で止めるには

"UTOC Writing" が点滅し、消えたあと録音停止。

⇨

押す

■一時停止するには

録音に戻るには、もう一度押す。

⇨ 録音 ●/II **押す**（トラックマークが1つ付く）

■好みの位置にトラックマークを付けるには

リモコンのみ

⇨ トラックマーク **録音しながら、トラックマークを付けたい位置で、押す**

TR-MARKING

- オートCD 録音（⇨ 22ページ）中は好みの位置にトラックマークを付けることはできません。

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。
- CD の A-B リピート（⇨ 18ページ）演奏中に［**録音、●/II**］を押すと、A-B リピート演奏が録音できます。このとき、［**録音、●/II**］を押すタイミングによってはじめに短い曲ができることがありますが、そのときは、ERASE 機能（⇨ 26ページ）ではじめの曲を消してください。

好みの曲から聞く
（ダイレクトプレイ）

選んだ曲から最後の曲までを演奏した後、停止します。

本　体

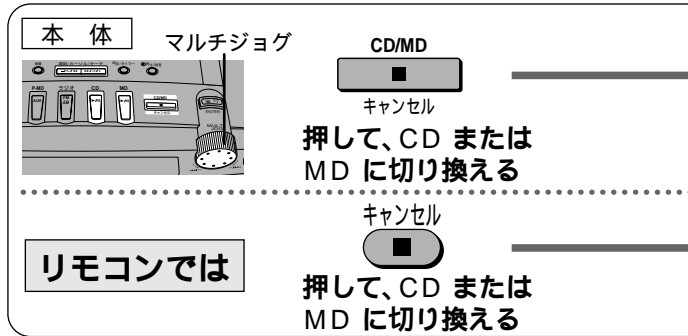
マルチジョグ

CD/MD ■ キャンセル

押して、CD または MD に切り換える

リモコンでは

キャンセル ■

押して、CD または MD に切り換える

順不同に聞く
（ランダムプレイ）

リモコンのみ

各曲を1曲ずつ順不同に演奏した後、停止します。

キャンセル ■

押して、CD または MD に切り換える

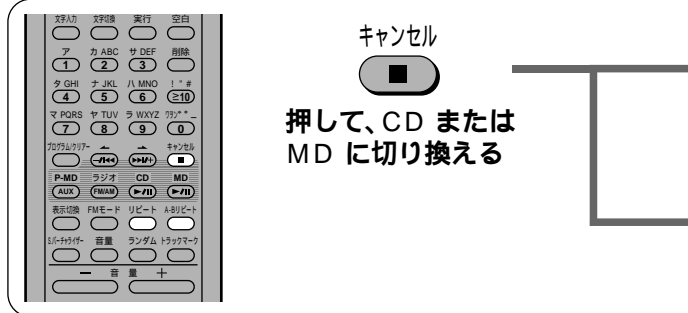
繰り返し聞く
（リピートプレイ）

リモコンのみ

次の 3 種類があります。

1曲 リピート
全曲 リピート
A-B リピート…
MD（または CD）の聞きたい部分だけを繰り返す

キャンセル ■

押して、CD または MD に切り換える

予約して聞く
（プログラムプレイ）

リモコンのみ

好みの曲を好みの順に演奏します。最大24曲まで予約できます。

キャンセル ■

押して、CD または MD に切り換える

ランダムプレイのとき

■解除するには

停止中に ［ランダム］ を押す。
（“RANDOM” 表示が消灯します。）
- ディスクを取り出した場合も解除されます。

お知らせ

- スキップで前の曲には戻りません。
- サーチは、演奏中の曲内のみです。
- プログラムプレイと同時にはできません。

リピートプレイのとき

■解除するには

［リピート］ を押して、“1-⭮” “⭮” を、または **［A-B］** を押して “⭮AB” を消す。
- ディスクを取り出した場合も解除されます。

A-Bリピートは次のようなときにも解除
- MD またはCD を停止させたとき
- **［選局／カーソル／サーチ、−/⇀/◀◀ 、▶▶/⇀/+］** をポンと押したとき

■好みの数曲を繰り返すには

① プログラムプレイで演奏を始める。
② **［リピート］** を押して、“⭮” を選ぶ。

お知らせ

A-Bリピートができないとき
- ランダムプレイ中
- 1曲・全曲リピート中
- プログラムプレイ中

■数字ボタンで10以上の曲番を選ぶには

(例)

●10〜99

曲番10：≧10→1→0

曲番25：≧10→2→5

●100〜(MDのみ)

曲番100：≧10→≧10→1→0→0

曲番235：≧10→≧10→2→3→5

プログラムプレイのとき

■解除するには

停止中に、リモコンの [プログラム／クリヤー] を押す。
"PGM CLEAR"が表示され、予約内容も取り消されます。
●ディスクを取り出した場合も解除されます。

■予約の途中で

● "PROGRAM FULL" と表示されたら
これ以上の予約はできません。

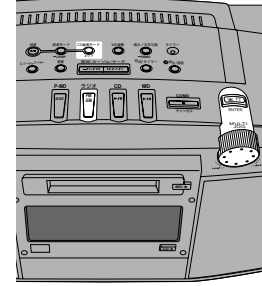
● "--:--" と表示されたら
予約曲の合計が250分を超えたことを示しています。
予約は引き続き行えます。

■予約を確認するには

停止中に、[–/⏮/◀◀]または[▶▶/⏭/+]をポンポンと押す。
または[マルチジョグ]を回す。
曲番と予約順が順次表示されます。

■予約を追加するには

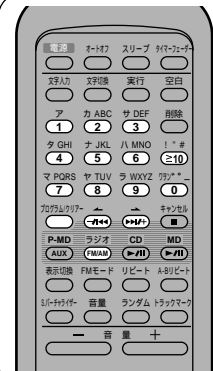
"PROGRAM" 表示のときに、リモコンの数字ボタンで曲番を選ぶ。

お知らせ (CDのみ)
サーチは、演奏中の曲内のみです。

●チャンネルに放送局を記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
●FM、AM とも12局ずつ記憶できます。

記憶させる

お住まいの地域を指定する
（エリアバンク）

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主なFM、AM放送局を1度で記憶できます。

ラジオ FM AM

FM または AM、どちらになっていても設定できます。

好みのチャンネルを指定する
（マニュアルメモリー）

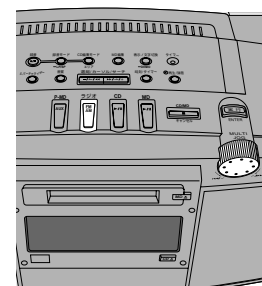
リモコンのみ

たとえば、エリアバンクで記憶したあとのあきチャンネルを埋めるときなどに行います。

ラジオ FM/AM

押して、FM または AM を選ぶ

押すたびに FM ⇄ AM

聞く

記憶させた放送局を聞く

簡単な操作で受信します。

ラジオ FM AM

押して、FM または AM を選ぶ

押すたびに FM ⇄ AM

■数字ボタンで10以上の曲番を選ぶには
（例）

10ch：≧10 → 1 → 0
12ch：≧10 → 1 → 2

■記憶させた放送局をリモコンで選ぶには
① [ラジオ、FM/AM] を押して、FM またはAM を選ぶ。
②数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

お知らせ

●FM をモノラル受信モード（⇨ 15ページ）で記憶させることはできません。

回して、チャンネルを選ぶ

エリアバンクで記憶したチャンネル
のときは、放送局名も表示。

● リモコンの数字ボタンでも選べます。

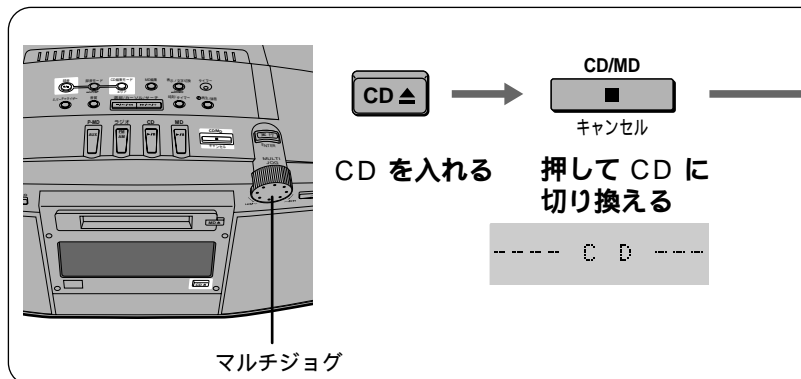
エリアバンク（放送局の内容は、1999 年 7 月現在のものです。）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏	21	大津	31	松山
2	青森		（東京、横浜、	22	奈良	32	高知
3	秋田		千葉、浦和）	23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	12	甲府	24	大阪圏	34	北九州
5	山形	13	松本		（大阪、神戸、京都）	35	佐賀
6	仙台	14	静岡	25	鳥取	36	長崎
7	福島	15	名古屋圏	26	松江	37	大分
8	宇都宮		（名古屋、岐阜）	27	広島	38	熊本
9	水戸	16	津	28	山口	39	宮崎
10	前橋	17	新潟	29	高松／岡山	40	鹿児島
		18	富山	30	徳島	41	那覇
		19	金沢				
		20	福井				

操作の前に

録音用MD を本体に入れる。

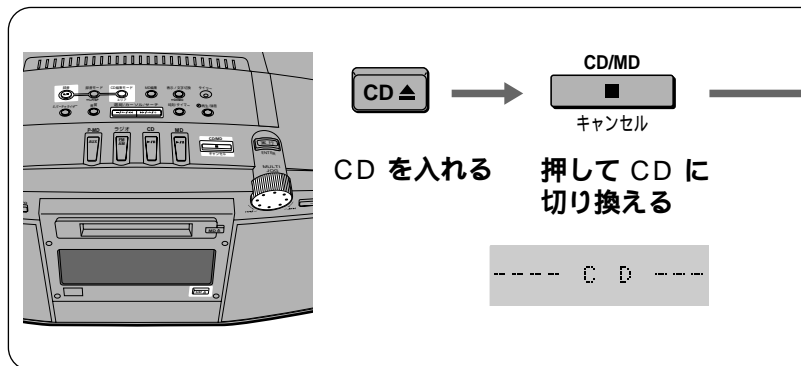
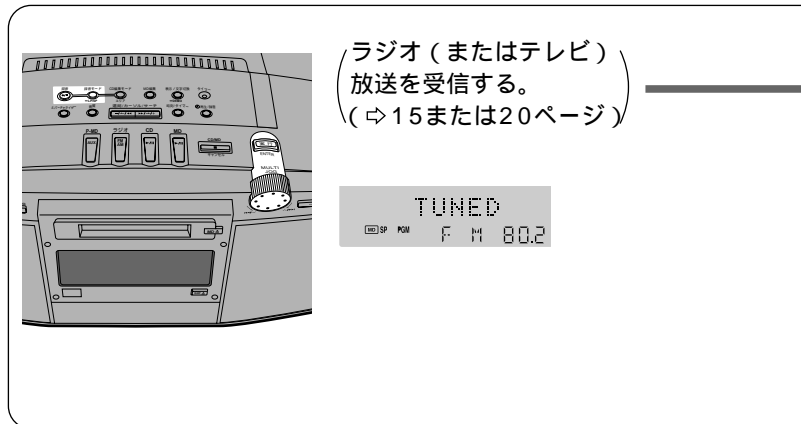
CD の全曲を自動で録音する

（CD まる録り ・・・オートCD 録音）

CD の好みの1 曲を録音する

（CD1 曲ねらい録り）

ラジオ放送を録音する

ラジオ（またはテレビ）放送を受信する。
（⇨15または20ページ）

TUNED
MD SP PGM F M 80.2

■録音を途中で止めるには

[CD/MD、キャンセル、■] を押す。

お知らせ

オートCD 録音中は、録音を一時停止させることはできません。
また、好みの位置にトラックマークを付けることもできません。

■CD の好みの数曲を録音するには（プログラム録音）

① CD の曲をプログラムする。（⇨ 18 ページ）
② [CD 編集モード、エリア] を押して、“AUTO”を選ぶ。
③ [録音、●/II] を押す。

お知らせ

プログラム録音では曲と曲のあきが少し多くなります。従って、“ゼンキョクREC カノウ”と表示されても、MD の残り時間が少ない場合は全曲録音できないことがあります。

長時間（モノラル）録音について

例えば 74分の MD に 148分録音できる長時間（モノラル）録音モードがあります。

■録音モードを切り換えるには

[録音モード、━ LP/SP] を押し続けて、モードを切り換えます。
SP：普通の録音（ステレオ）
↕
LP：長時間録音（モノラル）

お知らせ

長時間録音モードにしても、元の信号がステレオであれば、モニター音はステレオになります。

頭切れしないように、数秒前の音から録音する（ターンバック録音）

数秒前の音声データを本機に蓄えておくことにより、数秒前の音から録音することができます。
ラジオ放送を録音するときに便利です。

① **［ラジオ、FM/AM］**を押す。
② **［録音モード、━ LP/SP］**を押す。
③ **［マルチジョグ］**を回して“TURN BACK”を選ぶ。
④ **［実行、ENTER］**を押す。
⑤ **［録音、●/II］**を押して、スタンバイ状態にする。（データ蓄積を開始します。）
⑥再度 **［録音、●/II］**を押す。
（押した時点の数秒前の音から録音されます。）

「CDの好みの1曲」または「ラジオ放送」を録音するとき

■演奏中のCD の曲を録音するには（おっかけ録音）

① **［CD 編集モード、エリア］**を押し、“1-REC”を選ぶ。
② **［録音、●/II］**を押す。
その曲を最初から録音し、曲が終わると自動的に停止します。

■録音を一時停止するには

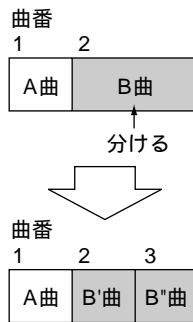
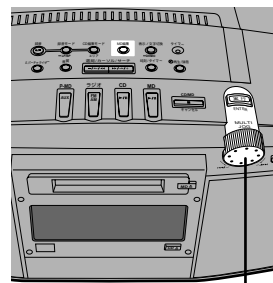
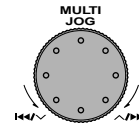
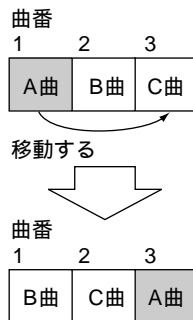
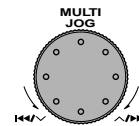
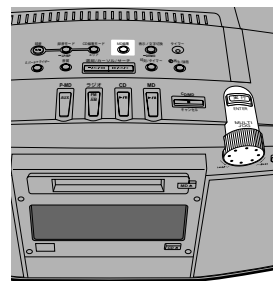
［録音、●/II］を押す。（トラックマークが1 つ付く）
録音に戻るには、もう一度押す。

■好みの位置にトラックマークを付けるには

録音中に、好みの位置でリモコンの**［トラックマーク］**を押す。

お知らせ

エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局名がトラックタイトル（⇨28ページ）として記録されます。

録音後に曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりしながら、自分だけのオリジナルMD を作ることができます。(録音用MD のみ)

■編集を途中で止めるには
[CD/MD、キャンセル、■] を押す。

ムーブのとき

■演奏中(または一時停止中)に行うには
① 移動したい曲を演奏する。(または一時停止する。)
② [MD 編集] → [マルチジョグ] “MOVE” を選び、
→ [実行、ENTER] を押す。
③ [マルチジョグ] で移動先の曲番を選び、[実行、ENTER] を押す。
④ [実行、ENTER] を押す。

およその位置を決める

正確な位置を決める

曲を分けたい位置で、押す

分けた位置からの 4 秒間を繰り返し演奏します。（モノラル録音では 8 秒間）

回して、位置を調整する

前後 8 秒で調整できます。（モノラル録音では16 秒）
- 数値は－128 ～＋127 の範囲で表示されます。

押す

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集完了。

- 分けた位置にトラックマークが付きます。
- タイトルが付いている曲を分けると、あとの曲はタイトルなしになります。

押す

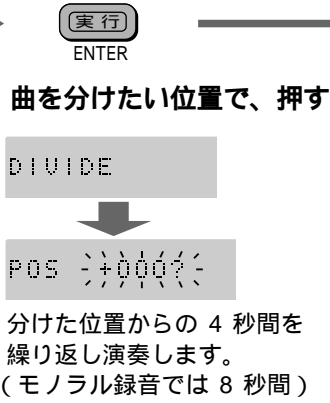
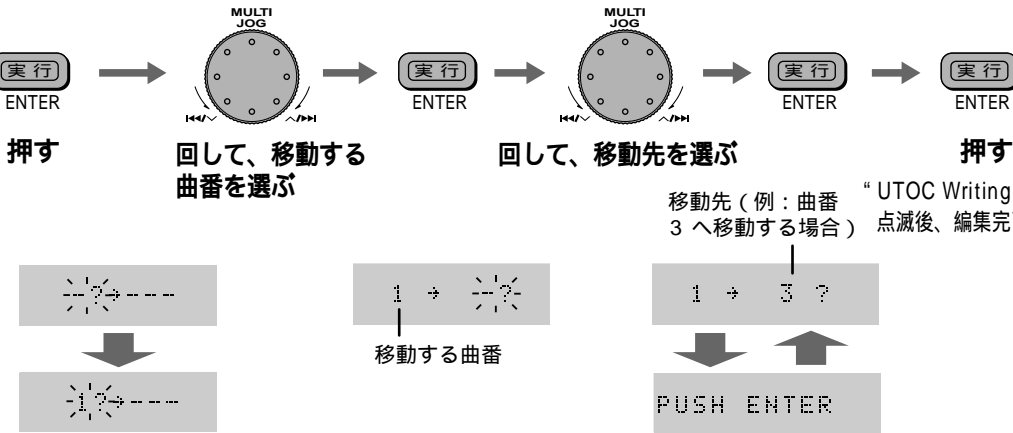
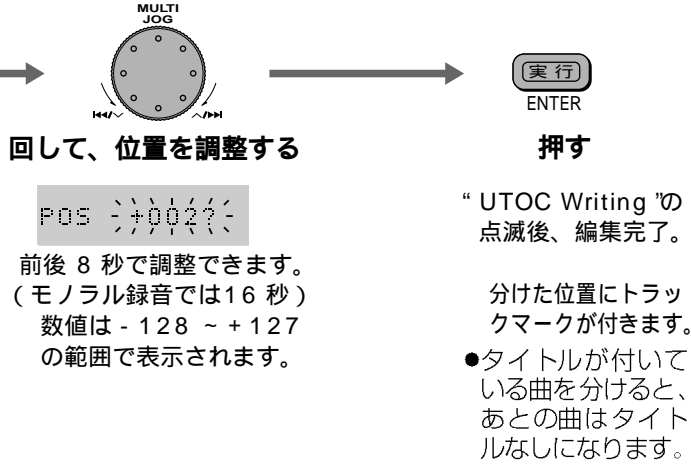
回して、移動する曲番を選ぶ

移動する曲番

回して、移動先を選ぶ

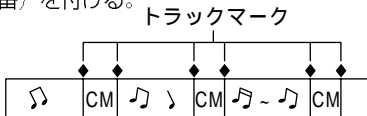
移動先（例：曲番 3 へ移動する場合）

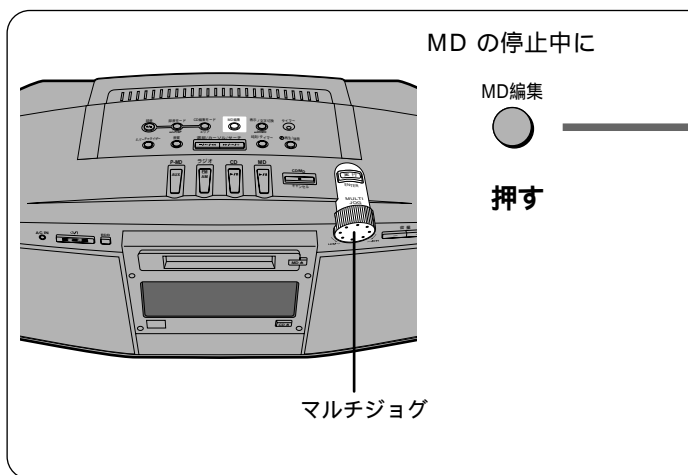
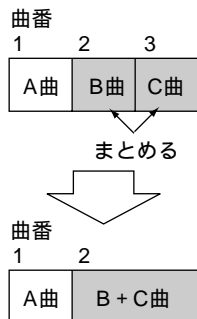
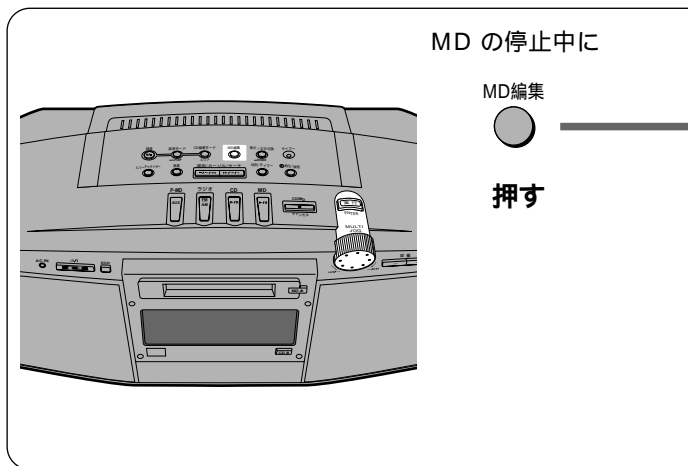
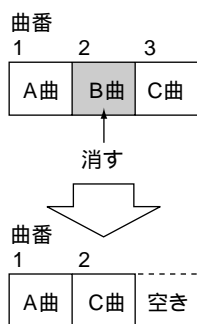
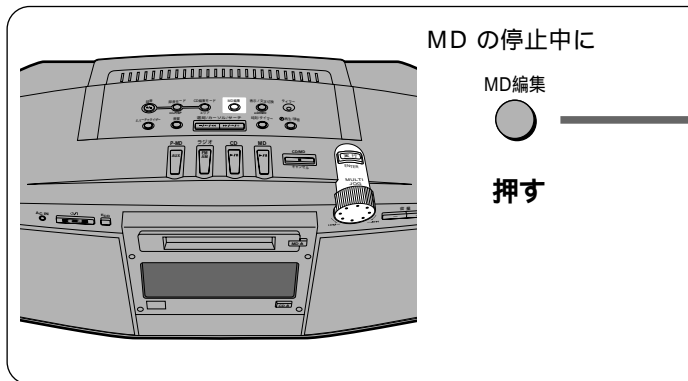
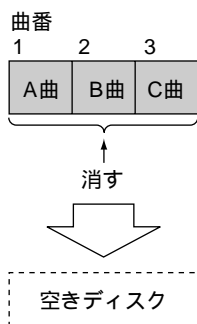
押す

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集完了。

不要なCM などを消すには（MD 編集の応用例）

FM 放送を録音したあと、CM 部分を消して、それぞれの曲に曲番を付けます。

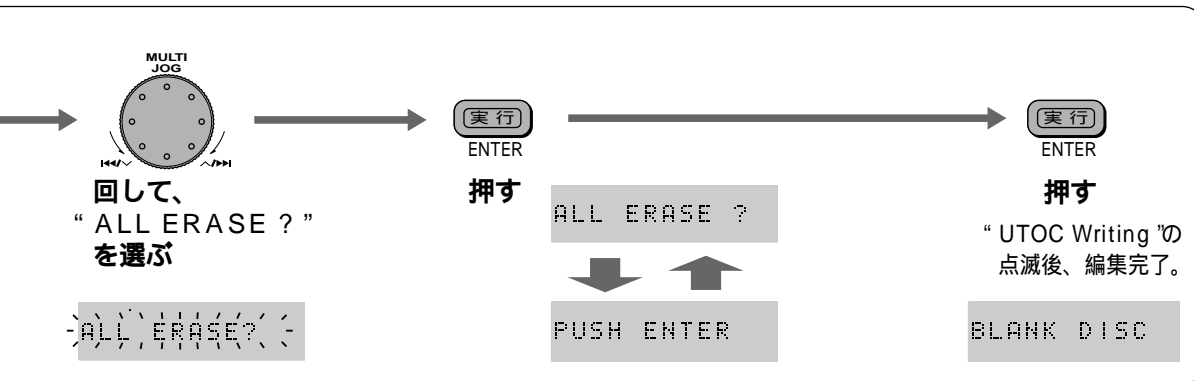
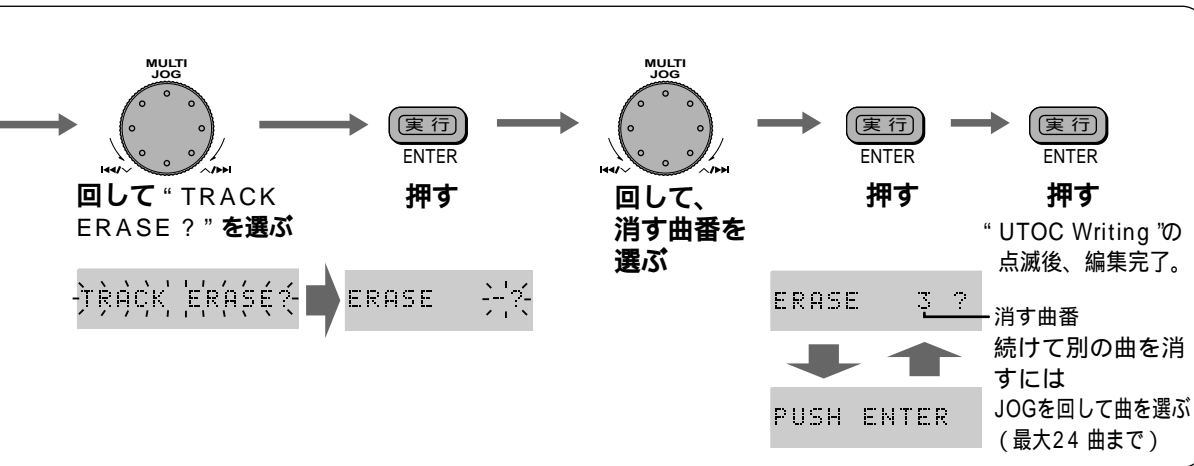
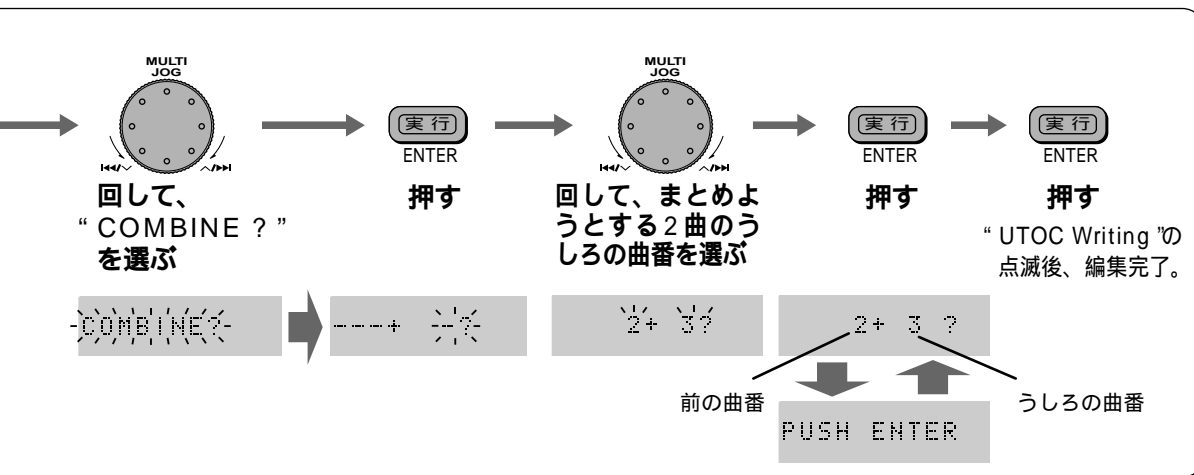
① FM 放送を録音する。（➪ 22ページ）

②ディバイド(➪ 上記)でCM にトラックマーク（曲番）を付ける。

③ トラックイレース（➪ 26ページ）でCM の曲番を消す。

消した分、前に詰まります。

■編集を途中で止めるには
[CD/MD、キャンセル、■] を押す。

コンバインのとき

■演奏中(または一時停止中)に行うには
① まとめる後ろの曲を演奏する。
② [MD 編集] を押し、[マルチジョグ] を回して
"COMBINE ?" を選び、[実行、ENTER] を押す。
③ [実行、ENTER] を押す。

お知らせ
- 通常録音と長時間録音の曲をまとめることはできません。
- タイトルが付いている2曲をまとめると、前の曲のタイトルになります。

トラックイレースのとき

■演奏中（または一時停止中）に行うには

① 消したい曲を演奏する。
② [MD 編集] を押し、[マルチジョグ] を回して“TRACK ERESE ?”を選び、[実行、ENTER] を押す。
③ [実行、ENTER] を押す。

■消す曲番を確認するには

最後の [実行、ENTER] を押す前に、[▸▸/⇀/+] を押して、“ERESE CHECK”モードにする。

オールイレースのとき

お知らせ

演奏中に全曲を消すことはできません。

録音用MD には、アルバム名（ディスクタイトル）や曲名（トラックタイトル）が各100文字まで記録できます。（1枚のMD にはアルファベットで約1700文字、記録できます。）

録音済みMDにタイトルを入力する

リモコンでは

キャンセル ■ 押してMDに切り換える → 文字入力

■途中で中止するには
［CD/MD、キャンセル、■］を押す。
ただし、すでに［実行、ENTER］を押して確定したタイトルは残ります。

■MD の演奏、録音中にトラックタイトルをつけることもできます。
演奏、録音が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。演奏中にタイトルを付けると、つづきの演奏中はMD の編集（DIVIDE、MOVE、COMBINE、TRACK ERASE）はできません。MD を停止させてから編集してください。

文字入力のしかた

■本体またはリモコンを使って入力します。

各操作（⇨28～31ページ）で文字入力画面 文字を入力する のとき、以下の方法で、一文字ずつ入力してください。

①文字入力グループを選択する

- **本体操作**………… ［**表示／文字切換、−DEMO**］を押すたびに
  カナ「ア」→ 英大「A」→ 英小「a」→ 数字「1」が選べます。
- **リモコン操作**…… ［**文字切換**］を押すたびに本体操作と同様に選べます。

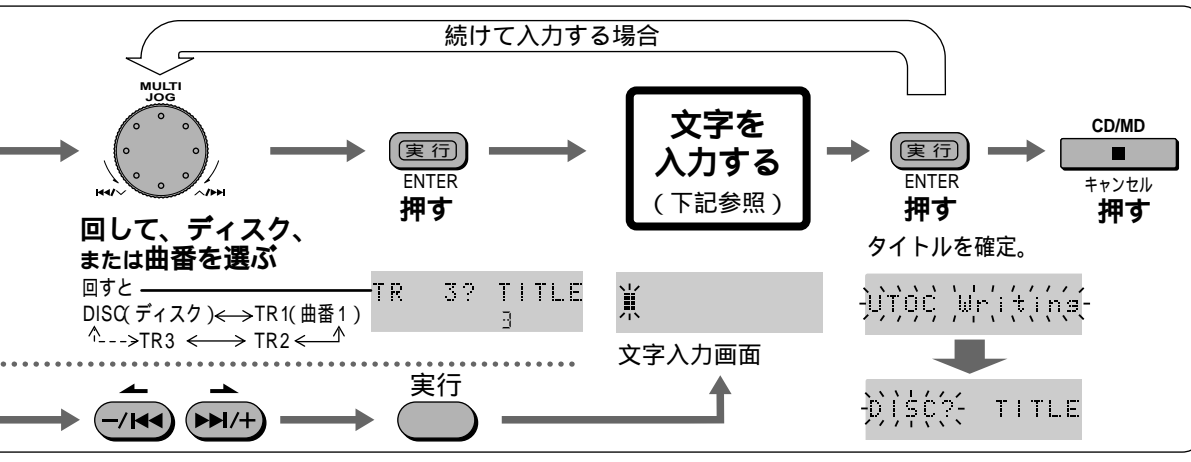
②文字を選択する

- **本体操作**………… ［**マルチジョグ**］を回して入力する文字を選択する。
  （文字入力一覧表を参照してください。）
- **リモコン操作**…… ［**数字ボタン**］を押して入力する文字を選択する。

（エディットアイに表示）

- **リモコンの[数字ボタン]について**（文字入力一覧表も参照してください。）
  - **カナ入力**………… 例えば［**ア、1**］を 押すごとに、ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ とかわります。
  - **英大入力**………… 例えば［**カ ABC、2**］を 押すごとに、A→B→C とかわります。
  - **英小入力**………… **英大入力と同じ。**
  - **数字入力**………… ［**ア、1**］～［**ワヲン゛゜ー、0**］を押す。
  - **記号入力**………… ［**! ”#、 ≥10**］を押す。

③選択した文字を確定する

- **本体操作**………… ［**選局/カーソル/サーチ、▶▶/⇀/+**］を押して、文字を確定する。
- **リモコン操作**…… ［**⇀、▶▶I/+**］を押して、文字を確定する。

①リモコンの［文字入力］を押す。
　または本体の、［MD 編集］→［マルチジョグ］を回して“TITLE INPUT ?”を選択→［実行、ENTER］を押す。
②曲のタイトルを入力する。
③［実行、ENTER］を押す。
● 1回の演奏、録音中に入力できるタイトルの合計文字数は約1200文字までです。

■入力済みの文字を変更するには

①文字入力画面にする

②[選局/カーソル/サーチ、−/←/◀◀、▶▶/→/+ ］で変更する文字にカーソルを合わせる

そのあと、次の操作を行います。

- **文字を訂正するには**
  文字入力（左記①、②、③参照）の方法で上書きする。
- **文字を削除するには（リモコン操作のみ）**
  ［**削除**］キーで削除する。
- **1文字あけるには**（本体操作とリモコン操作は同じ結果になります。）
  - **本体操作**…………①［**マルチジョグ**］で“ ⎵ ”（スペース）を表示する。
    ②［**選局/カーソル/サーチ、−/←/◀◀、▶▶/→/+**］で確定する。
  - **リモコン操作**……［**空白**］キーを押す。
- **文字を挿入するには**
  - **本体操作**…………①挿入する位置に1文字あける（上記参照）
    ②［**マルチジョグ**］で文字を選択する。
    ③［**選局/カーソル/サーチ、−/←/◀◀、▶▶/→/+**］で確定する。
  - **リモコン操作**……① 挿入する位置に1文字あける（上記参照）
    ②［**数字ボタン**］で文字を選択、確定する。

■文字入力一覧表

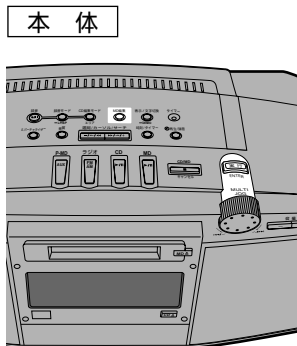
種　類	文字、数字・記号
カタカナ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
	タ チ ツ テ ト ッ ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ
	モ ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ゛ ゜ ー
	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， − ． ／ ： ； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ⎵
英　大	A B C D E H G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， − ． ／ ： ； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ⎵
英　小	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， − ． ／ ： ； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ⎵
数　字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， − ． ／ ： ； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ⎵

共通記号
（“ ⎵ ”はリモコンでは選べません。）

オートCD 録音中に
（⇨22ページ）

トラック タイトルを まとめて 入力する

オートCD 録音中は、タイトルを、全曲まとめて入力できます。
録音中の待ち時間を有効に使えます。
どの曲の録音中でも、タイトルを入力できます。　録音終了後は入力できません

本　体

MD編集

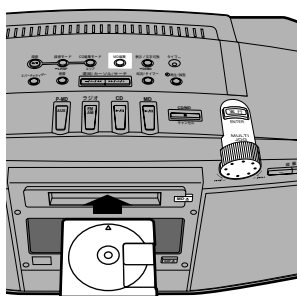
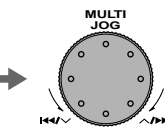
押す　TITLE INPUT?

リモコンでは

文字入力

タイトルを 他のMDに コピーする

（タイトルステーション）

同じ曲数を録音したMD へ、全タイトルをコピーできます。

タイトルのついた MD（コピー元）を入れる

押す　回して、“TITLE ST. ?”を選ぶ　押す

TITLE ST.?

■途中で中止するには
［CD/MD、キャンセル、■］を押す。

トラックタイトルをまとめて入力するとき

入力したタイトルは 1曲目から順に記録されます。
一度入力すると、前の曲には戻れません。
タイトルの追加や訂正は、録音終了後のタイトル入力で行ってください。
（⇨28ページ）

せん。

● 全曲の入力が終わるまで、この操作の繰り返しになります。
● 入力しなくても、［実行、ENTER］を押せば次の曲へ進みます。
● 最後の曲で［実行、ENTER］を押すと、“ TITLE WRITE ” と表示した後、録音の画面に戻ります。

実行 ENTER
押す

CD 1→MD 1

1 曲目の文字入力画面

文字を入力する
（⇨28ページ）

実行 ENTER
押す

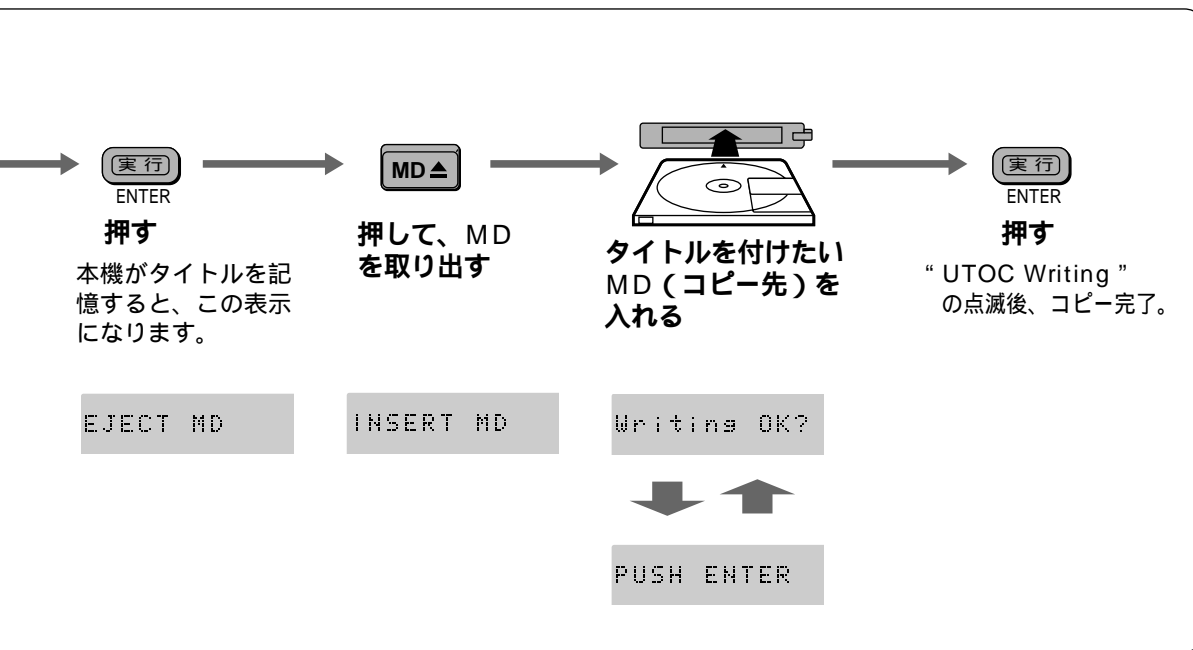
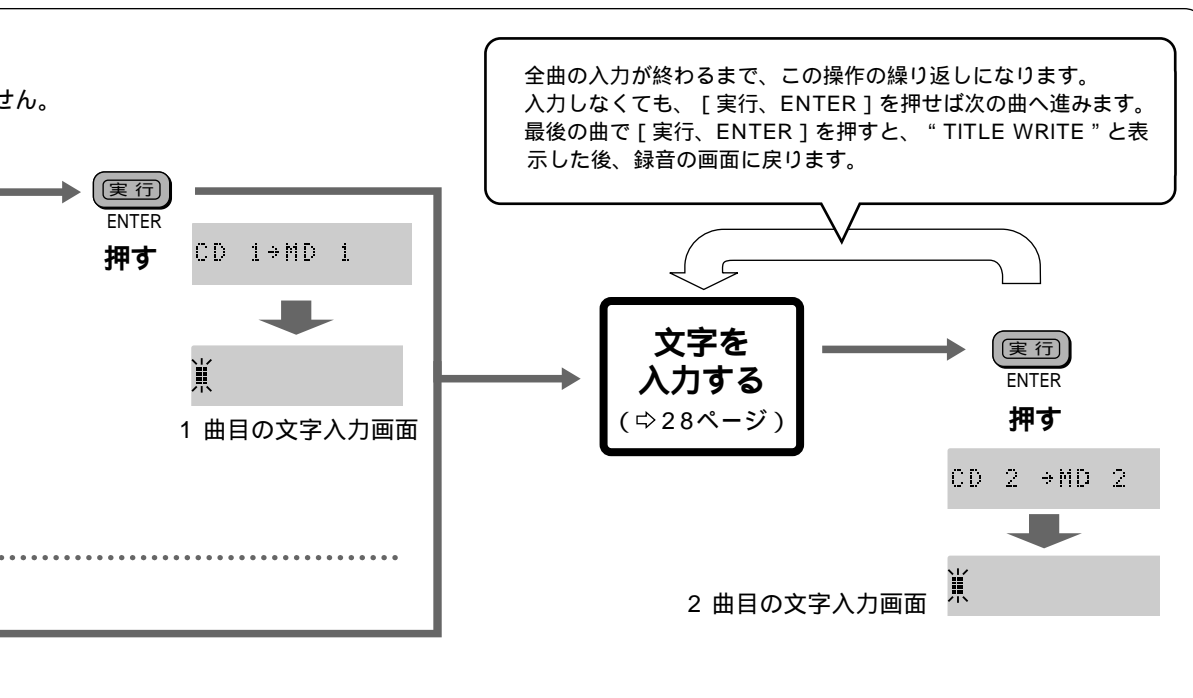
CD 2 →MD 2

2 曲目の文字入力画面

押す
本機がタイトルを記憶すると、この表示になります。

押して、MDを取り出す

タイトルを付けたいMD（コピー先）を入れる

押す
“ UTOC Writing ” の点滅後、コピー完了。

タイトルステーションのとき

●本機が記憶できるタイトルは、MD1 枚分です。
●本機に記憶されたタイトルは、一度コピーすると消えます。
●コピー先のMD にすでにタイトルが付いている場合は、新しいタイトルに変わります。
●演奏用MD のタイトルを本機に記憶させることはできません。

おめざめタイマー

《タイマーを設定する前の **準備**》
時計を合わせる（⇨8 ページ）

好みの時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
一度時刻を設定しておくと、あとはソース設定を変えるだけで、違うソースでおめざめできます。

タイマー時刻設定

1

2回押して
タイマー時刻設定画面を選ぶ

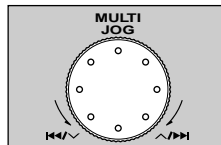
2

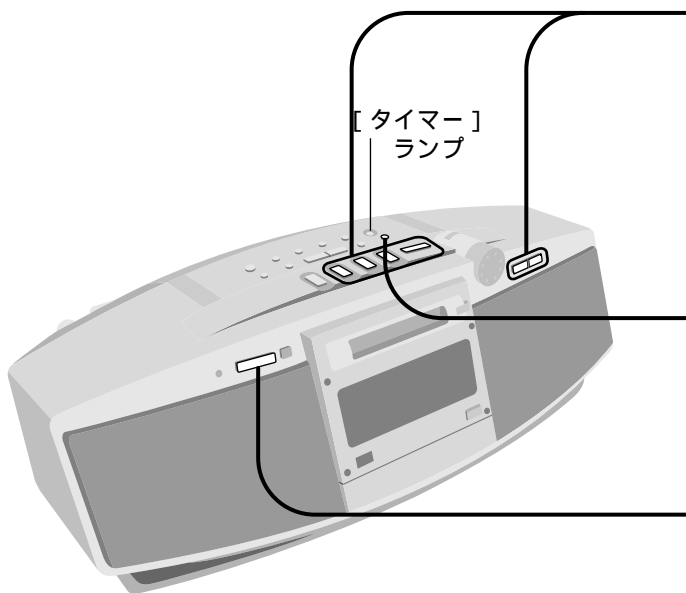
10秒以内に
回して
開始時刻を選び

押す
[時刻／タイマー] を押しても設定できます。

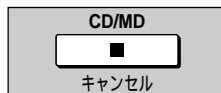
3

回して
終了時刻を選び

実 行
ENTER

押す
[時刻／タイマー] を押しても設定できます。

ソース・音量・タイマー実行設定

4

押して
ソースと音量をきめる

① MD、CD、またはラジオを演奏し、
② 音量を調整する。
③ （MD、CDのときは）演奏を停止する。

5

押して
"◷ PLAY"を表示させる
[タイマー] ランプが点灯。

6

押して
電源を切る
電源を切らないとタイマーが動作しません。

予約した時刻になると
演奏が始まります。（動作中は"◷ PLAY"が点滅）

表示例）6:30～7:40まで好みの
ソースを演奏する場合

（24時間表示）

0:00→→ 0:00

押すたびに
“CLOCK(現在時刻)”→タイマー時刻設定画面
↑―― 元の表示 ←――┘

6:30→→ 0:00

開始時刻

6:30→→ 6:30

終了時刻

外部機器を使ったタイマー設定
［P-MD、AUX］をポンと押して、本機のソースを“AUX”にした後、接続した外部機器を、本機と同時刻に動作するように設定してください。

⏲PLAY
TIMER-PLAY

押すたびに ⏲PLAY――――→⏲REC
↑― 表示なし(OFF)←┘

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。

- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

■おめざめタイマーを解除するには

電源「入」のときに［⏲再生／録音］を押して、“TIMER-OFF”を表示させる。動作させるには、もう一度“⏲PLAY”を点灯させる。

■設定内容を確認するには

電源「切」のときに［時刻／タイマー］を押す。

開始時刻／終了時刻→ソース→音量の順に自動的に表示し（約2秒ずつ）、そのあと元の表示に戻ります。

■設定内容を変えるには

<u>時刻を変えるとき</u>

電源を入れ、左記の手順1～3、6を行う。

<u>ソースを変えるとき</u>

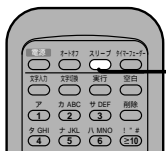
電源を入れ、［⏲再生／録音］を押して“TIMER-OFF”を表示させ、そのあと左記の手順4～6を行う。

■タイマー設定後でも、演奏や録音はできます

操作後は、必ず電源を切ってください。

おやすみタイマー リモコンのみ

好みの時刻がくると、ソースの演奏を停止し、電源が切れます。

MD、CDまたはラジオを聞きながら

スリープ

押して
演奏時間（分）を選ぶ

おやすみタイマー動作中に点灯

SLEEP

SLEEP 30

押すたびに SLEEP 30→SLEEP 60→SLEEP 90
（単位：分） ↑― SLEEP OFF←SLEEP 120←┘

■おやすみタイマーを解除するには

［スリープ］を“SLEEP OFF”が表示されるまでポンポンと押す。

■残り時間を確認するには

［スリープ］を一度だけ押す。

残り時間が約5 秒間表示されます。

■設定時間を変えるには

［スリープ］をポンポンと押して、好みの時間を表示させる。

（ご参考）**おやすみタイマーを組み合わせて使う**

おやすみタイマーは、他のタイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、予約時間が重ならないようにしましょう。

タイマーフェーダー機能 リモコンのみ

タイマー動作時の音量を徐々に大きく／小さくします。
おめざめ、おやすみタイマーと組み合わせて使います。
電源「入」のときに［タイマーフェーダー］を押します。

お知らせ

- “FADER”表示中は、すべてのタイマーにタイマーフェーダーが働きます。
（留守録タイマー時は、録音される信号には影響しません。）
- タイマーフェーダーは、“FADER”表示を消さない限り、毎日働きます。

留守録タイマー

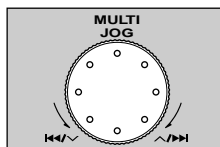
《タイマーを設定する前の **準備**》
- ●**時計を合わせる**（⇨8 ページ）
- ●**録音用MD を入れる**（⇨17ページ）

好みの時刻に電源が入り、好みの放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

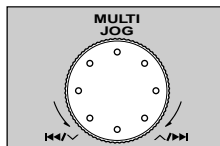
タイマー時刻設定

1

2回押して
タイマー時刻設定画面を選ぶ

2

10秒以内に
回して
開始時刻を選び

押す
[時刻／タイマー] を押しても設定できます。

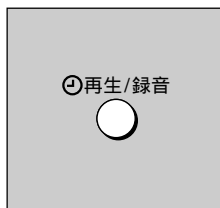
3

回して
終了時刻を選び

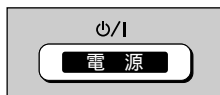
押す
[時刻／タイマー] を押しても設定できます。

放送局・タイマー実行設定

4 **放送局を受信し、音量を調整する。**
必要に応じて録音モードも設定してください。（⇨22、23ページ）

[タイマー] ランプ

5

押して
“REC” を表示させる
[タイマー] ランプが点灯。

6

押して
電源を切る

予約した時刻の30 秒前になると
電源が入り、自動的に録音が始まります。音量は**手順4 で設定した大きさ**になります。（動作中は“REC”が点滅）

■留守録タイマーを解除するには

電源「入」のときに［再生/録音］を押して、“TIMER-OFF”を表示させる。動作させるには、もう一度“REC”を点灯させる。

■設定内容を確認するには

電源「切」のときに［時刻/タイマー］を押す。開始時刻／終了時刻→録音モード／ソース→音量の順に自動的に表示し（約2秒ずつ）、そのあと元の表示に戻ります。

■設定内容を変えるには

時刻を変えるとき
電源を入れ、左記の手順1～3、6を行う。

ソースを変えるとき
電源を入れ、［再生/録音］を押して“TIMER-OFF”を表示させ、そのあと上記の手順4～6を行う。

お知らせ
ターンバック録音モードでタイマー録音する場合でも、手順2 で設定した開始時刻から録音が始まります。

表示例）18:30～19:20まで好みの放送局を録音する場合

（24時間表示）

押すたびに

"CLOCK(現在時刻)"→タイマー時刻設定画面
↑―― 元の表示 ←――

開始時刻

18:30→→18:30

終了時刻

F M 80.2

TIMER-REC
F M 80.2

押すたびに ⏲PLAY ――→ ⏲REC
↑― 表示なし(OFF)←―

● おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。

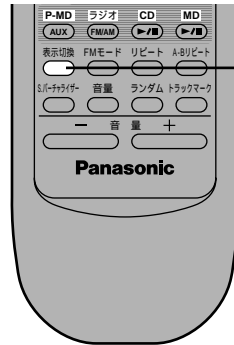
電源を切らないとタイマーが動作しません。

●タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

■タイマー設定後でも、演奏や録音はできます

操作後は、必ず電源を切ってください。

便利な機能

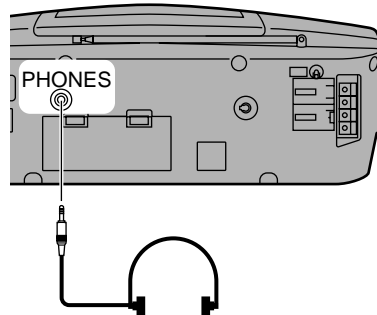
時間やタイトルなどの情報を見るには

表示切換 **押す**

本体では

表示/文字切換 **押す**

DEMO

押すたびにいろいろな情報が表示されます。表示される内容は、現在行っている操作やソースなどによって異なります。

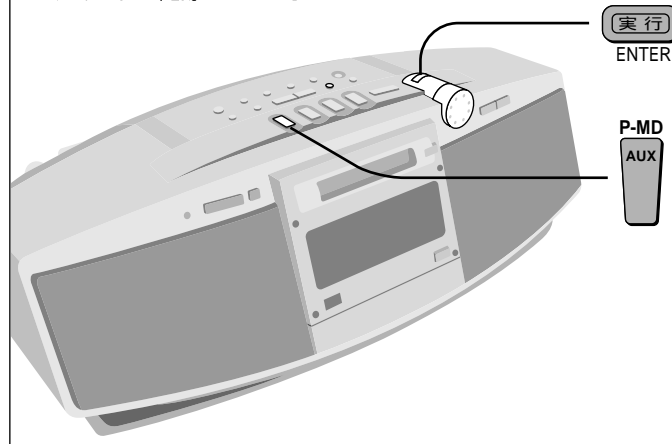
ヘッドホン（別売り）で聞くには

① 音量を下げる。
② 本体後面の［PHONES］端子にヘッドホンを接続し、音量を調整する。

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

ヘッドホン
● プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
● 推奨品：RP-HT400、RP-HT242
（共に別売り）

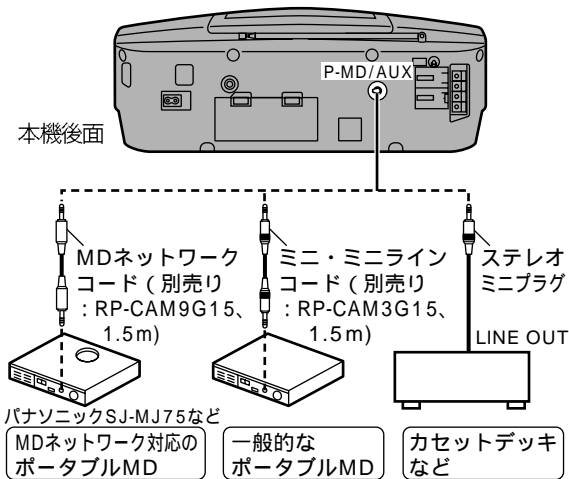
MD 操作中に異常が発生したときは

録音・編集中に、万一"UTOC Writing"の点滅表示が消えないなどの不具合が発生した場合、本体の［ENTER、実行］を押しながら、[P-MD/AUX] を押してください。強制的に電源が切れます。"UTOC Writing"が点滅中に電源が切れた場合、そのときの録音・編集結果はディスクに記録されていません。

タイマーを使う

使いかた

便利な機能

別売りの機器を接続する

● 電源を切ってから接続してください。

アナログプレーヤーを接続するには

市販のフォノイコライザー（レコードの音声信号を増幅するアンプ）を通して［P-MD/AUX］端子に接続します。

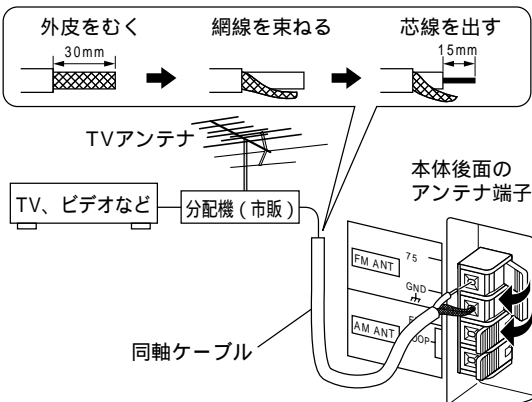
[P-MD/AUX] をポンと押して“AUX”を選んでください。

推奨品：当社のアナログプレーヤー　SL-J8（イコライザー内蔵）

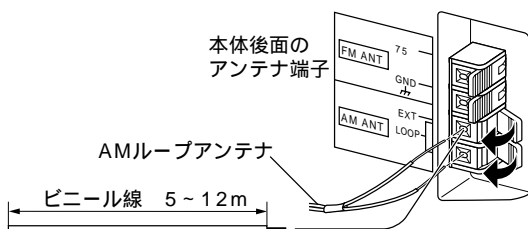
SL-J8を本機に接続するには、ミニフォーン・ツウピンラインコード（別売り：RP-CAPM3G15）、ピンコード中継アダプター（別売り：RP-PA66A）が必要です。

屋外アンテナを使う

山間部や鉄筋ビルの中などで電波を受信しにくい場合は、屋外アンテナを接続してください。

FM(TV アンテナの利用)

AM(市販のビニール線)

窓際などに、ビニール被覆線を水平に取り付けます。

付属の AM ループアンテナも同時に接続しておきます。

別売りの機器を使う

MDネットワーク機能でMDからMDに録音する

MDネットワーク対応のポータブルMDプレーヤーから本機のMDに録音します。

ポータブルMDプレーヤーを本機でコントロールして録音、タイトルのコピーが簡単にできます。（演奏用MD のタイトルはコピーできません。）

対応品

カタログにこのマークが付いているポータブル MD プレイヤーです。（SJ-MJ75など）

MD ネットワーク対応のビジュアル／タイトルプリンター（別売り）と組み合わせることで、MD の楽しさがさらに広がります。

外部機器の演奏を本機のMDで録音する

以下の録音ができます。

- MANUAL（マニュアル）録音
  トラックマークは記録されません。
- SYNCHRO（シンクロ）録音
  ソースから音が出ると、自動的に録音が始まります。また、3秒以上の無音部分があると、そこにトラックマークが入ります。
- TURN BACK（ターンバック）録音
  頭切れしないように、数秒前の音から録音します。（⇨ 23ページ）
- TIMEMARK（タイムマーク）録音
  5分おきにトラックマークが自動記録されます。
- TURN/TIME 録音
  TURN BACK 録音 ＋ TIMEMARK 録音

本機のMD で録音するとき

■録音を停止するには

[CD/MD、キャンセル、■] を押す。

お願い

録音、再生中はネットワークコードを抜かないでください。

お知らせ

- MD ネットワーク機能はタイマーと組み合わせて使うことはできません。
- 本機側の MD にディスクタイトルが記録されている場合、MD ネットワーク機能でもディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能で録音終了後、ポータブルMD プレーヤーは節電のため、約4分後に自動的に電源「切」になります。（点滅表示になります。再び通信確立するには［P-MD、AUX］を押してください。）

■MD ネットワーク機能でビジュアル／タイトルプリンター（対応品：SH-CP30）を使うには

MDに付いているタイトルを元にして、MDのラベルが印刷できます。
［P-MD、AUX］端子に接続して使います。詳しくはビジュアル／タイトルプリンターの説明書をお読みください。

MD について

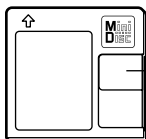
MD の種類

■演奏専用 MD

録音できません。

ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

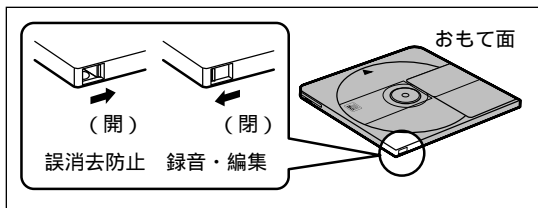
■テープとは違います

録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、 ERASE 機能でいらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません。）

■MD1枚への録音曲数は254曲、録音時間は60分、74分、または80分までです。

ただし、 MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集を行うときは閉じてください。

■デジタル録音の制限について

デジタル録音（本機の CD → MD への録音）には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD へデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで著作権保護のため、この MD からさらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー”の禁止）。
なお、アナログ録音（ラジオ→ MD や後面の [P - MD/AUX] → MDへの録音）にはこのような制限はありません。

■録音、編集時のお願い

録音や編集を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。
“UTOC Writing”の点滅前に電源が切れると、録音、編集が記録されません。また、点滅中に電源が切れたり振動があると、正しく記録されません。
“UTOC Writing”は通常の録音で約 10 秒、タイトル編集中で最大約 60 秒表示されます。

よく出てくる MD 用語

■ TRACK MARK（トラック マーク）

録音部分に記録される“区切り”のことです。
ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。

■ TOC（トック）(Table of Contents)

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

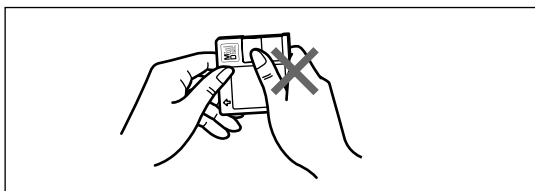
■ UTOC（ユートック）(User Table of Contents)

利用者が自由に書き換えられる TOC です。
入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing”と表示され、注意を促します。

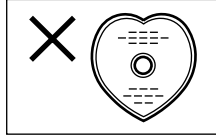
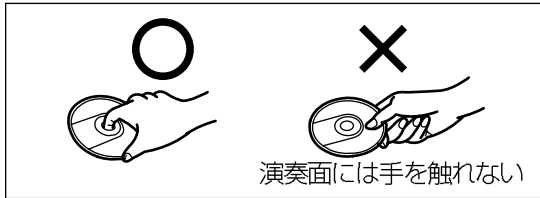
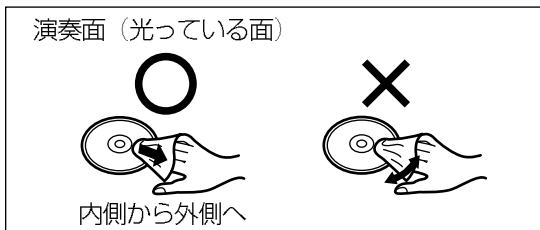
■ MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングするほか、曲を聞きながら好みの位置に自分でマーキングすることもできます。

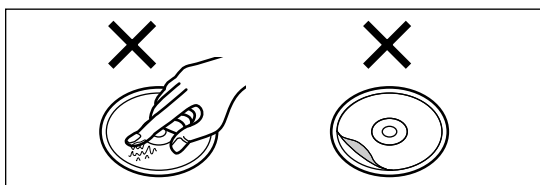
取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない。
  （また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがしたあとのある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない。
  （万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手をふれないでください。）

CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート形など特殊形状のCDはご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります。）

■持ちかた

■汚れたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■露がついたら
急に暖かい室内に持ち込んだときなどに、露がつくことがあります。その場合は乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない

MD・CD の保管

■次のような場所に置かない
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房機具の熱が直接当たる場所

著作権

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音保償金が含まれております。
お問い合わせ先：㈳ 私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（ JASRAC ）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3502-6551
北海道支部	☎ (011) 221-5088
盛岡支部	☎ (0196) 52-3201
仙台支部	☎ (022) 264-2266
大宮支部	☎ (048) 643-5461
東京支部	☎ (03) 3562-4455
西東京支部	☎ (03) 3232-8301
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5286-1671
立川支部	☎ (0425) 29-1500
横浜支部	☎ (045) 662-6551
静岡支部	☎ (054) 254-2621
中部支部	☎ (052) 583-7590
北陸支部	☎ (0762) 21-3602
京都支部	☎ (075) 251-0134
大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大阪北支部	☎ (06) 6244-7077
神戸支部	☎ (078) 322-0561
中国支部	☎ (082) 249-6362
四国支部	☎ (0878) 21-9191
九州支部	☎ (092) 441-2285

お手入れ

■本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■MD、CD を良い音でお楽しみいただくために
別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
　　　　MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）
　　　　CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

Q&A

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	**手持ちのアナログプレーヤーを接続したい。**	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。 そのまま接続すると、増幅機能がないため音が小さくなります。	36
	有線放送を接続したい。	［P-MD/AUX］端子に接続します。 **［P-MD/AUX］**をポンと押して"AUX"を選んでください。	36
	TV を接続したい。	［P-MD/AUX］端子に接続します。 **［P-MD/AUX］**をポンと押して"AUX"を選んでください。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	36
	マイクを接続したい。	マイク端子はありません。	
MDの録音と演奏	**MD ネットワーク対応機器について教えて。**	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	36
	録音した曲に上書きで録音したい。	MDはテープとは異なり、上書き録音はできません。 MD の録音残り時間が少ない場合は、ERASE 機能で不要な曲を消してから録音してください。	38 26
	一度録音した MD に追加で録音したい。	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	
	録音中に、音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調整してスピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。	
	MD の残り時間を知りたい。	MD 停止中や演奏中に**［表示/ 文字切換］**を押して、"MD Rem"を表示させる。	35
	長時間（モノラル）録音したい。	LP：長時間録音モードに設定します。	22
	ステレオ/モノラル（長時間）再生はどうやって切り換えるの？	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	
その他	**引っ越ししても、そのまま使えるの？**	東日本、西日本に関係なく使えます。	

こんな表示が出たら

	表示	意味または処置
共通	ADJUST CLOCK	時計を合わせてください。
	ADJUST TIMER	タイマーの時刻を設定してください。
	CHANGE TIME	タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。
	ERROR	操作が違います。
MD操作中	CAN NOT EDIT	他の機器で 100文字を超えるタイトルをつけた MD は、本機でタイトル編集できません。 演奏中のタイトル入力後、MD 編集はできません。
	CAN NOT、TITLE INPUT（交互に表示）	オート CD 録音中のタイトル入力は、一度しかできません。
	CAN'T MEMORY	転写元の MD タイトルが記憶できていません。再度操作してください。
	DISC ERROR	MD に異常があるか、損傷しています。
	DISC FULL	MD のあき時間がたりません。
	DISC、PROTECTED（交互に表示）	MD 誤消去防止状態になっています。
	EJECT ERROR または LOAD ERROR	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れますので、MD を入れ直してください。
	EMERGENCY、STOP（交互に表示）	録音中に異常が発生しました。MD を入れ直してください。
	MD F26	MD の読み取りに問題があるかもしれません。一度電源を切/入してから MD を入れ直してください。 それでも同じ表示になる場合は、販売店にご相談ください。
	NOT DIVIDE	ディバイドできません。（MD の記録方式上の制約です。）
	PlaybackDISK	演奏専用 MD のため、録音や編集はできません。
	P - MD（点滅表示）	ポータブル MD との通信が中断しています。再度［P-MD、AUX］を押してください。
	P - MD ERROR	ポータブル MD との通信エラーです。再度［P-MD、AUX］を押してください。
	NOT COMBINE	コンバインできません。（MD の記録方式上の制約です。）
	TRACK×××、PROTECTED、 ERASE××??（交互に表示）	曲にプロテクト（保護）がかかっています。消去していいか確認してください。消去することはできます。
	REC ERROR	録音中に異常が発生しました。表示中は音声は録音されていません。
	SCMS、CAN NOT COPY（交互に表示）	ビデオ CD や CD-ROM などからは録音できません。
	SELECT OVER	これ以上イレースするトラックを選べません。
	TITLE FULL（約2秒点灯）	タイトルを、本機にこれ以上記憶できません。 各トラックのタイトル入力は100文字までです。
	TITLE OVER	録音中、演奏中はこれ以上タイトル入力できません。
	TOC Reading	MD の情報を読み込み中です。この間は操作できません。
	TRACK NUMBER、 NOT EQUAL（交互に表示）	曲数の違うMDへはタイトルステーション機能は使えません。
	TRACK、PROTECTED（交互に表示）	消去ができないように設定されているため、その曲は消去できません。
	UTOC FULL	MD に情報を書き込める余白がありません。不要なタイトルや曲を消去してください。 （UTOC FULL の状態ではディバイドも行えません。）

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
システム全体に共通	**音が出ない。**	音量が最小になっていませんか。**[音量]** で調整してください。	11、13、15
	予約時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか（おめざめ、留守録タイマー）。電源を切らないと動作しません。	32〜35
		表示（◷PLAY、◷REC、SLEEP）が点灯していますか。点灯させてください。	
	電源「切」時に時計が表示されない。	節電機能が「入」のときは表示されません。	9
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	再設定してください。メモリー保護のため、メモリー用乾電池を入れておくことをおすすめします。	6
MD	**演奏できない。**	寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	
	録音できない。	● 演奏専用 MD を入れていませんか。 ● MD が誤消去防止状態になっていませんか。 ● すでに録音された時間または曲数(上限 254 曲)がいっぱいになっていませんか。不要な曲があれば、消してから録音してください。 （MD はたとえ 1 秒の録音でも約 2 秒分の領域を使うため、短い曲を多く録音すると、演奏側の時間表示より録音時間が少し長くなります。）	38
	MD を入れても曲数などが表示されない。	MD 以外のモード（CD、ラジオなど）になっていませんか。**[CD/MD、キャンセル、■]** を押して、MD に切り換えてください。	
		MD が破損しているかもしれません。別の MD で確認してみてください。	
	MD を入れても自動的に引き込まれない。 また、入れるのに力がいる。	電源を入れ直してみてください。MD の排出中に無理な力を加えると、このようになる場合があります。	
	コンバインやディバイドができない。 また、曲を消しても残り時間が増えない。	録音・消去を繰り返していると、録音データがしだいに細かく分断されていくため、左記のような状態になることがあります。（MD の記録方式上の制約です。） この時サーチを行うと、音が途切れたりすることがあります。	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
CD	演奏できない。 CD を入れても曲数などが表示されない。	● CD が裏表逆になっていませんか。 ● 規格外の CD を使っていませんか。	12、39
		CD がひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。	
		寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	
	特定の個所が演奏できない。	CD が汚れている場合は、柔らかい布でふき取ってください。	39
ラジオ	FM がよく受信できない。 雑音やひずみが多い。	ホイップアンテナの長さや向きを変えてみてください。	7
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は、切ってみてください。	
		送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。テレビのアンテナ、または音にひずみがある場合はより高感度のアンテナが、必要になる場合もあります。	36
	AM がよく受信できない。 雑音が多い。	● AM ループアンテナを接続していますか。 ● AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。	7
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は、切ってみてください。	
		アンテナのコードの近くに電源コードがある場合は、離してください。	
		受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。	36
	テレビ放送が受信できない。	ラジオは FM バンドになっていますか。 テレビは1 ～ 3 チャンネルの音声のみ、FM バンドで受信可能です。	15
リモコン	リモコンが動かない。	● 乾電池の⊕ ⊖ が逆に入っていませんか。 ● 乾電池が消耗している場合は、新しい乾電池と取り替えてください。	7
		本機との間に障害物はありませんか。	7

本体（操作部）

タイマー表示ランプ
タイマーを設定しているときに点灯（⇨32ページ）
表示／文字切換、デモボタン
（⇨8、35ページ）
タイマー操作部
（⇨32ページ）
MD 編集ボタン
（⇨24ページ）
基本操作部
演奏、停止などよく使う操作
録音操作部
（⇨17、23ページ）
実行（ENTER）ボタン
各種設定操作の実行
音質切換ボタン
（⇨11ページ）
音量ボタン
（⇨11ページ）
マルチジョグ
さまざまな選択操作
≜MD EJECT（MD取り出し）ボタン
（⇨11ページ）
MD 挿入口
表示部
（⇨右ページ）
MODE（節電）ボタン
（⇨9ページ）
≜CD OPEN/CLOSE（CDトレイ開閉）ボタン
（⇨13ページ）
⏻/I 電源 ボタン
（⇨9ページ）
CD トレイ
AC IN ランプ
電源「入」〈赤色〉
（⇨6ページ）

本体（表示部）

リモコン

（　）のボタンはリモコンのみです。

電源 ボタン

オートオフボタン（⇨11ページ）

スリープ（おやすみ）タイマーボタン（⇨33ページ）

タイマーフェーダーボタン（⇨33ページ）

実行ボタン

基本操作部

CD・MD演奏モードボタン
（⇨18、19ページ）

トラックマークボタン
（⇨17、23ページ）
MDにトラックマーク
をつける

文字・数字入力部
（⇨19、28ページ）

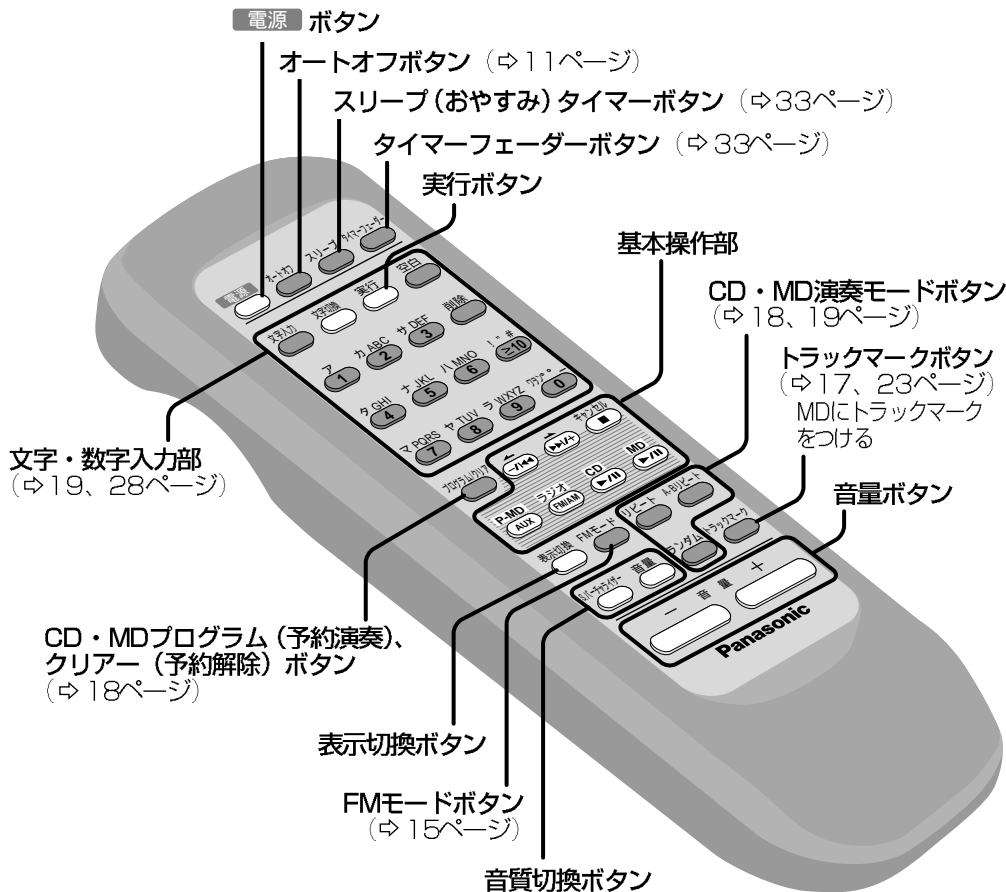
音量ボタン

CD・MDプログラム（予約演奏）、
クリアー（予約解除）ボタン
（⇨18ページ）

表示切換ボタン

FMモードボタン
（⇨15ページ）

音質切換ボタン

各部のなまえ

必要なとき

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき
40～43ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、パーソナルMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

0120-878-365（パナは 365日）

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
ナショナル／パナソニック **海外ご相談センター**

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品）についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0699

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

- 札幌 ☎ (011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
- 旭川 ☎ (0166)31-6151 旭川市2条通21丁目左1号
- 帯広 ☎ (0155)33-8477 帯広市西19条南1丁目7-11
- 函館 ☎ (0138)48-6631 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）

東北地区

- 青森 ☎ (0177)39-9712 青森市大字八ッ役字矢作1-37
- 秋田 ☎ (018)826-1600 秋田市御所野湯本2丁目1-2
- 岩手 ☎ (019)639-5120 盛岡市羽場13地割30-3
- 宮城 ☎ (022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端59-2
- 山形 ☎ (023)641-8100 山形市流通センター3丁目12-2
- 福島 ☎ (0243)34-1301 福島県安達郡本宮町字南/内65

首都圏地区

- 栃木 ☎ (028)689-3321 宇都宮市御幸町194-20
- 群馬 ☎ (027)352-1217 高崎市萩原町沖中205-18
- 水戸 ☎ (029)225-0119 水戸市柳河町309-2
- つくば ☎ (0298)64-8090 つくば市花畑2丁目8-1
- 埼玉 ☎ (048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2
- 千葉 ☎ (043)208-6011 千葉市中央区星久喜町172
- 船橋 ☎ (047)334-5111 船橋市本中山6丁目11-7
- 柏 ☎ (0471)63-8905 柏市北柏1丁目6-6
- 東京 ☎ (03)5477-9780 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
- 山梨 ☎ (0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目1-27
- 神奈川 ☎ (045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-16
- 新潟 ☎ (025)286-7725 新潟市東明1丁目8-14

中部地区

- 石川 ☎ (076)294-2683 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
- 富山 ☎ (0764)32-8705 富山市寺島1298
- 福井 ☎ (0776)54-5606 福井市開発4丁目112
- 長野 ☎ (0263)58-0073 松本市大字笹賀7600-7
- 静岡 ☎ (054)287-9000 静岡市西島765
- 名古屋 ☎ (052)819-0225 名古屋市瑞穂区塩入町8-10
- 岡崎 ☎ (0564)55-5719 岡崎市岡町南久保28
- 岐阜 ☎ (058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
- 高山 ☎ (0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
- 三重 ☎ (059)255-1380 久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

- 滋賀 ☎ (077)582-5021 守山市勝部町6丁目2-1
- 京都 ☎ (075)672-9636 京都市南区上鳥羽石橋町20-1
- 大阪 ☎ (06)6359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7
- 奈良 ☎ (0743)59-2770 大和郡山市椎木町404-2
- 和歌山 ☎ (0734)75-1311 和歌山市中島499-1
- 兵庫 ☎ (078)272-6645 神戸市中央区琴/緒町3丁目2-6

中国地区

- 鳥取 ☎ (0857)26-9695 鳥取市安長295-1
- 米子 ☎ (0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33
- 松江 ☎ (0852)23-1128 松江市西津田2丁目10-19
- 出雲 ☎ (0853)21-3133 出雲市渡橋町416
- 浜田 ☎ (0855)22-6629 浜田市下府町327-93
- 岡山 ☎ (086)292-1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807
- 広島 ☎ (082)295-5011 広島市西区南観音8丁目13-20
- 山口 ☎ (0839)86-4050 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

- 香川 ☎ (087)868-9477 高松市勅使町152-2
- 徳島 ☎ (0886)98-1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
- 高知 ☎ (0888)66-3142 南国市岡豊町中島331-1
- 愛媛 ☎ (089)971-2144 松山市土居田町750-2

九州地区

- 福岡 ☎ (092)593-9036 春日市春日公園3丁目48
- 佐賀 ☎ (0952)26-9151 佐賀市本庄町大字本庄896-2
- 長崎 ☎ (095)830-1658 長崎市東町1949-1
- 大分 ☎ (097)556-3815 大分市萩原4丁目8-35
- 宮崎 ☎ (0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2
- 熊本 ☎ (096)367-6067 熊本市健軍本町12-3
- 天草 ☎ (0969)22-3125 本渡市港町18-11
- 鹿児島 ☎ (099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目5-33
- 大島 ☎ (0997)53-5101 名瀬市矢之脇町10-5

沖縄地区

- 沖縄 ☎ (098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

ラジオ

受信周波数	
FM	：76.0～90.0 MHz,（TV1ch～3ch）
AM	：522～1629 kHz（9 kHzステップ）

MDデッキ

記録方式	：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	：半導体レーザー（波長 780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数	：44.1 kHz
圧縮／伸張方式	：※ ATRAC 方式
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下

CDプレーヤー

サンプリング周波数	：44.1 kHz
複合化	：16 ビット直線
光源	：半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下
DA コンバーター	：MASH（1 ビット DAC）

リモコン

電源	：DC 3 V、（単3形乾電池 2 個）
最大外形寸法	
（幅×高さ×奥行き）	：55×150×26 mm（EIAJ）
質量	：約 97 g（乾電池を含む）

時計／メモリー

電源	：DC 6 V、（単3形乾電池 4 個）
電池持続時間	：約1年間 （別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R6PU使用時）

共通

スピーカー	
フルレンジ	：8 cm／12 Ω、2 個
入力端子	
P-MD (6P) / AUX (M3)	
P-MD、AUX (HIGH)	：－19 ± 2 dBV
AUX (NORMAL)	：－10 ± 2 dBV
出力端子	
PHONES	：ステレオ M3
実用最大出力	：7 W＋7 W（EIAJ）
電源	：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	：26 W
最大外形寸法	
（幅×高さ×奥行き）	：450×161×220 mm（EIAJ）
質量	：約 4.4 kg（乾電池なし） ：約 4.5 kg（乾電池を含む）

注）●乾電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
●この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源オフ時の消費電力	●節電機能「入」の場合：約 0.7 W ●節電機能「切」の場合：約 3.1 W

※ 本機はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

Panasonic® パーソナル MD システム RX-MDX5 取扱説明書

愛情点検　長年ご使用のパーソナル MD システムの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番	RX-MDX5
販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　）　－	

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT5171-2S
M0799NM2099